4-198-688-**02**(1)

LCD モニター

取扱説明書

LMD-4251TD
LMD-2451TD

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2010 Sony Corporation

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。
7～9ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したときは**

❶ 電源を切ります。
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
❸ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

目次

警告

下記の注意を守らないと、
火災や**感電**により**死亡**や**大けが**に
つながることがあります。

アース線を接続せよ

安全アースを接続する

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

指示

電源コードのプラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

禁止

通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。
- 壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

禁止

ファンが止まったままの状態で使用しない（LMD-2451TD）

本機では、ファンが止まると前面パネルのRETURN ボタンが点滅します。ファンが止まったまま使用し続けると、内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。
ソニーのサービス担当者にご連絡ください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を
与えることがあります。

DC IN 端子に規格以外の入力電圧をかけない（LMD-2451TD）

DC IN 端子に規格以外の入力電圧をかけると火災や感電の原因となることがあります。

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。
壁面や天井などへの設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。
また、1 年に 1 度は、取り付けがゆるんでないことを点検してください。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてケガの原因となることがあります。
また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

指定された電源ケーブル、接続ケーブルを使う

この取扱説明書に記されている電源ケーブル、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

入力アダプターを取り付ける際には電源を切って電源プラグを抜く

入力アダプターを取り付ける際にはモニターの電源を切り、電源プラグを抜いてください。モニターの電源を入れたまま入力アダプターを取り付けると感電の原因になることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
充分注意して接続・配置してください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動の際は電源コードや接続コードを抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

重いモニターは、2人以上で開梱・運搬する（LMD-4251TD）

モニターは見た目より重量があります。開梱・運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず２人以上で行ってください。１人で行うと腰を痛めることがあります。

本体のハンドルを持って運搬する（LMD-4251TD）

モニターを運ぶときは、必ず本体のハンドルを持ってください。落下して、けがの原因となることがあります。

本機を据え置きする際は専用スタンドを使用する（LMD-4251TD）

モニターの転倒によるけがや事故を防ぐため、台・床などに本機を据え置きする際は、専用スタンドを使用ください。専用スタンドについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

3D メガネを他の用途で使用しない

3D メガネは本機の 3D 映像を見るためのものです。その他の用途では使用できません。その他の用途で使用した場合、目や顔を損傷したり、けがの原因となる恐れがあります。

3D 視聴時は定期的に休息をとる

3D 映像を視聴する際は、定期的に休憩をとってください。休息をとらないと、目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。

その他の安全上のご注意

本機の電源スイッチは、後面に備えられています。
設置の際には、電源スイッチに容易にアクセス出来るようにしてください。

機器を水滴のかかる場所に置かないでください。また水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないでください。

本機の幅および奥行きより広いところに設置してください。
本機が設置面からはみだしていると、本機が傾いたり転倒することにより、けがの原因となることがあります。

警告

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

設置時には、通気やサービス性を考慮して設置スペースを確保してください。

- 通気孔（天面および底面）をふさがない。
- 通気のために、セット周辺に空間をあける。
- 作業エリアを確保するため、セット後方は、15cm 以上の空間をあける。

机上などの平面に設置する場合は、天面および底面は LMD-4251TD の場合 10cm 以上、LMD-2451TD の場合 4.4cm 以上の空間をそれぞれ確保してください。ただし、セット後方はサービス性を考慮し 15cm 以上の空間を確保することを推奨します。

LMD-4251TD

モニターの転倒によるけがや事故を防ぐため、台・床などに本機を据え置く際は、専用スタンドを使用してください。専用スタンドについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

LMD-2451TD

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

使用上のご注意（性能を保持するために）

液晶画面について

液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

焼き付きについて

一般に、液晶パネルは、焼き付きが起こることがあります。画面内の同じ位置に変化しない画像の表示を続けたり、くり返し表示したりすると、焼き付いた画面を元に戻せなくなります。

長時間の表示で焼き付きが発生しやすい画像

- 画面縦横比 16:9 以外のマスク処理された画像（LMD-4251TD）
- 画面縦横比 16:10 以外のマスク処理された画像（LMD-2451TD）
- カラーバーや長時間静止した画像
- 設定や動作状態を示す文字やメッセージなどの表示

焼き付きを軽減するには

- 文字表示を消す
  MENU ボタンを押して、文字表示を消します。接続した機器の文字表示を消すには、接続した機器を操作してください。詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源をこまめに切る
  長時間使用しないときは、電源を切ってください。

長時間の使用について

固定された画像または静止画などの長時間連続表示や、高温環境下で連続運用した場合、液晶パネルの特性上、残像や焼き付き、しみ、すじ、輝度低下などを発生することがあります。

特に、アスペクト変更などで表示エリアよりも狭いサイズで表示し続けた場合、パネル劣化の進行が早まるおそれがあります。
静止画などの長時間連続表示、または密閉された空間や空調機器の吹き出し口付近など高温多湿環境下における連続運用を避けてください。

モニター使用時に輝度を少し下げたり、モニター未使用時に電源を切ったりするなどして、上記のような現象を未然に防ぐことをおすすめします。

液晶画面の輝点・滅点について

本機の液晶パネルは有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

3D メガネについて

指紋などで汚さないため、レンズ面には直接手を触れないようにしてください。
暖房器具の近くや自動車内など温度の高い所には、置かないでください。
外圧を加えると変形することがありますので、無理な外圧を加えないように注意してください。
保管中や輸送中に硬いもの（たとえば金属品またはバックル、ファスナー、角のあるプラスチック等）がレンズ面に直接ふれないようにご注意ください。
老朽化が顕著な場合や、レンズに亀裂、破損など、明らかに傷んでいる場合は、ご使用にならないでください。
レンズの細かなスリ傷は、視界の妨げとなる可能性もあります。
横になったり顔を傾けたりすると、3D 効果を感じにくくなるほか映像の色が変わって見えることがあります。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

モニター画面、3D メガネのお手入れについて

モニターの画面は反射による映り込みを抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。また 3D メガネのレンズにも特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- スクリーン表面や 3D メガネのレンズについた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。レンズの汚れがひどいときは、水道水でレンズ面を指でなでるように軽く洗い流し、その後水分を柔らかい布で押し取るように拭いてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはスクリーンやレンズの表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

モニター外装、メガネフレームのお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ急に移動させたり、機器が温かい状態で設置箇所の冷房等を入れ、急速に機器周辺が冷却されたりすると、機器表面や内部に水滴が生じたり、保護パネル内側の面が曇ることがあります。
この現象を結露といい、故障ではありません。
しかし結露は、機器の故障の原因になることがあります。
結露が生じない場所に本機を設置してください。
結露が生じたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置してからご使用ください。

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中にモニターを捨てないでください。
- 本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

ファンエラーについて（LMD-2451TD）

本機には冷却用ファンが内蔵されています。RETURN ボタンが点滅した場合（ファンエラー警告）は、電源を切り、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

この取扱説明書について

本書は次の LCD モニターについて説明しています。
- LMD-4251TD
- LMD-2451TD

イラストは LMD-2451TD を使用して説明してあります。
説明が異なる場合は、別々に説明してありますので該当する部分をお読みください。

特長

LMD-4251TD（42 型）および LMD-2451TD（24 型）はマイクロポラライザー方式の 3D 表示に対応した、高精細、高性能の放送業務用マルチフォーマット液晶モニターです。3D 信号を入力できる別売の入力アダプター（BKM-250TG: シリアル番号 7100001 以降）を使えば、デュアルストリーム HD-SDI 信号をはじめとするさまざまな 3D 信号に対応します。また、長時間におよぶ業務を考慮し、かつ本機に最適化した専用 3D メガネを付属しています。さらに 3D の映像制作に求められるさまざまな新機能を搭載しました。2D の映像制作にも使用できます。

マイクロポラライザーフィルター

2 つの入力画像を奇数ラインと偶数ラインの交互に振り分け、異なる円偏光をかけて表示します。左の画像はメガネの左レンズ、右の画像は右レンズを通して見ることができます。
この形式で表示すると、複数のモニターの映像を確認することができます。

掛け心地の良い、軽量 3D メガネ

付属の 3D メガネは非常に軽量で装着感が高く、長時間使用しても疲れにくいデザインとなっています。LMD-4251TD/2451TD と組み合わせることで、色再現など最適な画像を得ることができます。フレームには柔らかい素材を使用しているほか、フレームセンターサポート構造の採用により、さまざまな頭部の形状にも柔軟に対応。レンズをフレーム中央で支えているため、フレームの広がりにかかわらず視界が歪むことがありません。さらに、汗をかいたときや激しく動く状況においても、ノーズパッドやイヤーホルダーでしっかり顔にフィットします。
3D メガネは別売でも購入できるほか、クリップオン型の BKM-31G（別売）を使えば、視力矯正メガネ用にも対応します。BKM-31G も非常に軽量で、レンズ部分を跳ね上げる機能を備えています。

さまざまな 3D 入力信号に対応

HD-SDI 信号については、別売の BKM-250TG を使うことで、3G、デュアルストリーム、サイド・バイ・サイド、ライン・バイ・ラインなどのさまざまな形式の 3D 信号に対応します。（HD-SDI 信号の 3D 表示機能を使用する場合は、シリアル番号 7100001 以降の BKM-250TG をご使用ください。）また 1080P、1080i、1080PsF、720P などマルチフォーマット対応するほか、DVI 信号はライン・バイ・ラインの 3D 信号に対応しています。

チェッカーボード機能

LR の独立した HD-SDI 信号を市松模様のように画面表示し、隣り合う LR の画像の輝度や色の設定状態を比較することができます。立体視ではなく、2D 表示で使用する機能です。

L/R スイッチ

デュアルストリームの左右 3D 入力信号を切り換えて比較することができます。切り換え時に黒フレームが入らないため、LR の信号の色や明るさの比較が容易です。立体視ではなく、2D 表示で使用する機能です。

視差シミュレーション機能

L、R、または LR の画像を水平方向にシフトすることができます。3D リグを動かさずに視差のシミュレーションができ、リグなどの機材の設定時間を効率よく行うために役立ちます。

ご注意

- この機能を終了すると元の視差に戻ります。視差を変える必要がある場合は 3D リグ等を調整してください。
- シミュレーションした画像を映像信号として記録機器等へ出力することはできません。

ホロプターチェック機能

L、R、または LR を単色表示することで、スクリーン境界面にあるものがスクリーン面より手前にあるのか、奥にあるのかを確認することができます。微妙な奥行きを確認するときに便利です。3D 表示で使用する機能です。

左右反転機能

ハーフミラー（半透過型鏡）方式の 3D リグを使用して左右が反転した信号を戻して表示します。

ご注意

本機の反転機能では、入力信号を反転して表示します。反転により遅れた信号に合わせて内部同期をとるため、表示に遅延があります。

ペイロード ID 表示

入力信号に付加されているペイロード ID のチャンネルアサイン情報を読み取って、それぞれの入力が L か R かをメニュー画面で確認できます。

高性能 LCD パネル

高精細、広視野角特性と高速応答で優れた色再現を提供します。

マルチフォーマット対応

ビデオ、Y/C、RGB、コンポーネント、SDI（3G/HD/SD、別売の入力アダプター装着時）の各入力信号および NTSC/PAL の２つのカラー方式に対応します。
SDI は HD-SDI、SD-SDI のほか、HD-SDI の 2 倍のデータ量をシングルリンクで伝送する 3G-SDI に対応しています。
PC 入力のために HD15（アナログ）入力端子と DVI-D（デジタル）入力端子を標準装備しています。

◆ 詳しくは、「対応信号フォーマット」（43 ページ）をご覧ください。

拡張可能な入力機能

入力オプションスロットに別売の入力アダプターを挿入することで、ビデオ入力端子パネルを用途にあわせて構成できます。入力アダプターは 2 枚まで装着できます。

◆ 詳しくは、「対応信号フォーマット」（43 ページ）をご覧ください。

外部リモート機能

シリアルリモート（Ethernet）で外部接続機器から入力選択や各種調整ができます。
Ethernet (10BASE-T/100BASE-TX) により、モニターとコントロールユニットを合わせて 32 台（コントロールユニットは最大 4 台）接続し、ネットワーク上でリモートコントロールができます。モニター ID No. やグループ ID No. を指定して、特定のモニターまたは特定グループのモニターだけを操作できます。また、接続しているすべてのモニターのセットアップ状態を統一したり、同時に同じ動作を実行することもできます。

◆ 詳しくは、リモートメニューの「シリアルリモート」（39 ページ）をご覧ください。
モニターコントロールユニット BKM-15R（別売）の取扱説明書もあわせてご覧ください。

チルト機能付きモニタースタンド（LMD-2451TD）

チルト機能のついたモニタースタンドを標準装備しています。
スタンド取り付け位置を変更することで画面の高さを選べます。

◆ 詳しくは、「スタンドの高さを調節する (LMD-2451TD)」（19 ページ）をご覧ください。

マウンティング機能

LMD-4251TD は 400 × 400 mm のマウンティング機能を装備しています。LMD-2451TD は VESA（100 × 100 mm）に準拠します。

2 画面表示

画面上に 2 種類の入力画像を並べて表示できます。

◆ 詳しくは、二画面設定メニューの「表示選択」(32 ページ) をご覧ください。

入力波形（ウェーブフォーム）／オーディオレベルの表示（LMD-2451TD）

入力信号の波形やオーディオレベル（エンベディッドオーディオのみ対応）をサブ画面で表示することができます。

◆ 詳しくは、二画面設定メニューの「入力選択」および波形モニター（33 ページ）をご覧ください。

クローズドキャプション

EIA608 に準拠したクローズドキャプション表示ができます。
別売の入力アダプターを装着することにより、SDI 信号に重畳された EIA/CEA-608、EIA/CEA-708 規格のクローズドキャプション信号を表示することができます。

オートクロマ／フェーズ機能を標準装備

デコーダーのクロマやフェーズを自動調整する機能を標準装備しています。

ブルーオンリーモード

R/G/B の各画素を青信号で動作させ、白黒画像として表示するモードです。
色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）の調整、信号ノイズ成分の監視に便利です。

H/V ディレイモード

水平／垂直同期信号を同時にモニターすることができます。3D 信号表示時には、H/V ディレイモードは機能しません。

画面の表示切り換え

放送業務用モニターとして便利な各種項目を画面に表示できます。
センターマーカー、セーフエリアマーカー、アスペクトマーカー、スキャンなど、用途や目的にあわせて切り換えて選択表示します。

◆ 詳しくは、マーカー設定メニュー（32 ページ）、システム設定メニューの「スキャン」(30 ページ) をご覧ください。

APA（Auto Pixel Alignment）機能

HD15 入力端子に入力された信号に対し、APA 機能を割り当てたボタンを押すだけで最適な画像サイズに調整できます。

色温度切り換え機能

２つ（9300 K、6500 K）の色温度を用途や好みに応じて選択／設定することができます。

色域変換機能

3 種類の色域（SMPTE-C/EBU/ITU-R BT.709）をメニューで選択することができます。

スクリーンメニュー表示機能

画面にメニューを出して、接続するシステムに最適なディスプレイの設定や調整をすることができます。

メニュー表示言語の選択

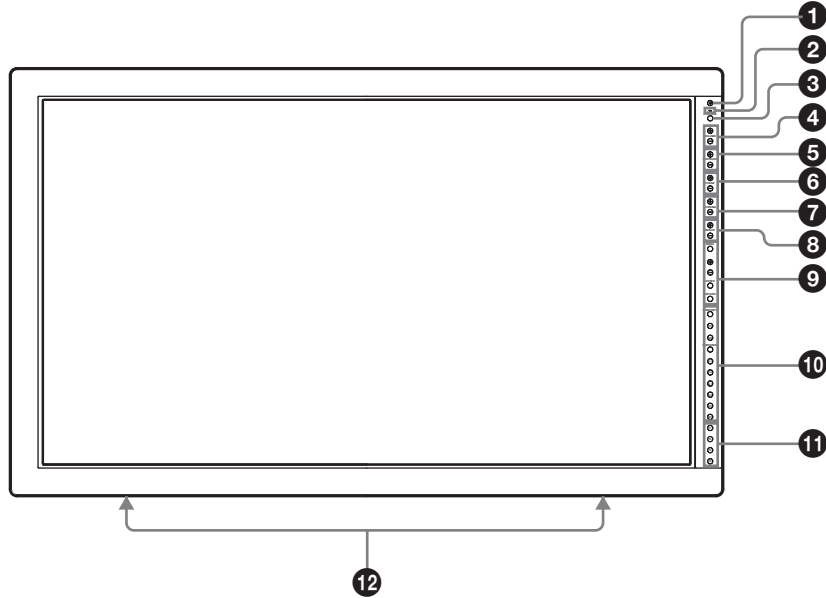
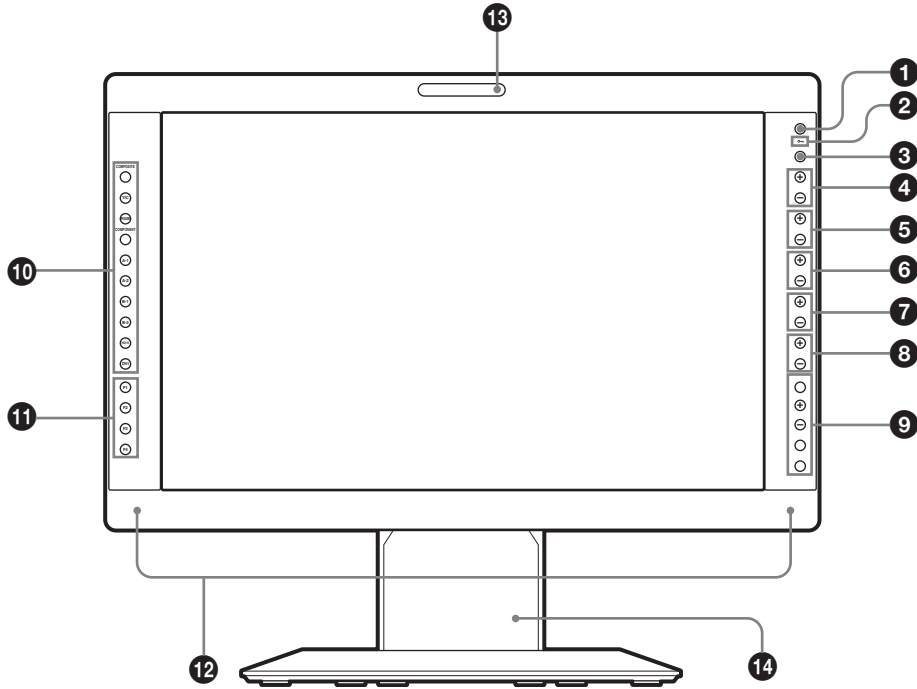
メニュー画面より、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、日本語、中国語の 7 か国語から選んで画面を表示できます。

キーロック機能

各種調整キーの誤操作を防ぐため、調整キーをロックできます。

各部の名称と働き

前面パネル

LMD-4251TD

LMD-2451TD

❶ ⏻（スタンバイ）スイッチとインジケーター
本機がスタンバイ状態（後面の主電源スイッチがオン）のとき押すと電源が入り、インジケーターが緑色に点灯します。
もう一度押すとスタンバイ状態になり、インジケーターが赤色に点灯します。

❷ ⊶（キーロック）インジケーター
キーロックメニューでキーロックをオンにすると赤に点灯します。

❸ CONTROL ボタン
前面パネルの操作ボタンを表示させたり、消したりすることができます。

❹ VOLUME（音量）調整ボタン
＋を押すと音量が大きくなり、－を押すと小さくなります。

❺ CONTRAST（コントラスト）調整ボタン
＋を押すとコントラストが強くなり、－を押すと弱くなります。

❻ PHASE（色相、色あい）調整ボタン
＋を押すと肌色が緑がかり、－を押すと紫がかります。

❼ CHROMA（色の濃さ）調整ボタン
＋を押すと色が濃くなり、－を押すと薄くなります。

❽ BRIGHT（明るさ）調整ボタン
＋を押すと画面が明るくなり、－を押すと暗くなります。

❾ メニュー操作ボタン
メニュー画面の表示や設定をします。

MENU（メニュー）ボタン
メニューを表示したり表示を消したりするときに使います。
押すとメニューが表示され、もう一度押すと消えます。

＋／－ボタン
項目および設定値を選択するときに使います。

ENTER（決定）ボタン
メニューで内容を決定するときに使います。
メニュー画面が表示されていないときこのボタンを押すと、判別された信号フォーマットが表示されます。

RETURN（リターン）ボタン
メニュー画面が表示されているときこのボタンを押すと、調整した項目の調整値を1つ前の状態に戻します。
メニュー画面が表示されていないときこのボタンを押すと、ユーザー設定メニューのファンクションボタン設定で選択された機能が F1 ～ F4 ボタンの横に表示されます。LMD-2451TD は、ファン停止時にこのボタンが点滅します。

❿ 入力切り換えボタン
各端子に入力された信号をモニターするとき押します。
A-1、A-2、B-1、B-2 ボタンは別売の入力アダプターを入力オプションスロットに取り付けたとき使用します。

COMPOSITE ボタン : COMPOSITE IN 端子からの信号をモニターするとき
Y/C ボタン : Y/C IN 端子からの信号をモニターするとき
RGB ボタン : R/G/B IN のそれぞれの端子からの RGB 信号をモニターするとき
COMPONENT ボタン : Y/PB/PR IN のそれぞれの端子からのコンポーネント信号をモニターするとき
A-1 ボタン : 入力オプションスロット A に装着された入力アダプターの [1] の端子（BKM-229X は R/G/B の端子）からの信号をモニターするとき
A-2 ボタン : 入力オプションスロット A に装着された入力アダプターの [2] の端子（BKM-229X は Y/PB/PR の端子）からの信号をモニターするとき
B-1 ボタン : 入力オプションスロット B に装着された入力アダプターの [1] の端子（BKM-229X は R/G/B の端子）からの信号をモニターするとき
B-2 ボタン : 入力オプションスロット B に装着された入力アダプターの [2] の端子（BKM-229X は Y/PB/PR の端子）からの信号をモニターするとき
HD15 ボタン : HD15 入力端子からの信号をモニターするとき
DVI ボタン : DVI-D 入力端子からの信号をモニターするとき

⓫ ファンクションボタン
割り当てられた機能をオン／オフすることができます。
工場出荷時は次の設定になっています。

F1 ボタン : 外部同期
F2 ボタン : スキャン
F3 ボタン : アスペクト
F4 ボタン : H/V ディレイ

「ユーザー設定メニュー」のファンクションボタン設定で次の機能を割り当てることができます（33 ページ参照）。
スキャン、アスペクト、外部同期、I/P モード、二画面表示、CLOSED CAPTION、MONO、H/V ディレイ、マーカー、APA、ブルーオンリー、2D/3D 選択、チェッカーボード、L/R スイッチ、ホロプターチェック、視差シミュレーション

◆ 割り当てられる機能について詳しくは、33 ページをご覧ください。

⓬ スピーカー
入力切り換えボタンで選んだ入力信号の音声が出ます。
BKM-220D/243HS/244CC/250TG を取り付けていない場合は、「ユーザー設定メニュー」の入力設定で選択された信号の音声が出ます（36 ページ参照）。

BKM-220D/243HS/244CC/250TG を取り付けた場合は、「ユーザー設定メニュー」のオプションオーディオ設定で選択されたチャンネルの音声が出力されます（36 ページ参照）。
スピーカーで出力されている音声は、後面の AUDIO L/R OUT 端子から出力されます（18 ページ参照）。

⓭ タリーランプ (LMD-2451TD のみ)

入力画面のモニター状態を色によって表示することができます。
リモートメニューのパラレルリモートの設定に応じて、赤、緑、アンバーで点灯します。

⓮ スタンド (LMD-2451TD のみ)

LMD-2451TD には、スタンドが標準装備されています。
高さを調整することができます（19 ページ参照）。

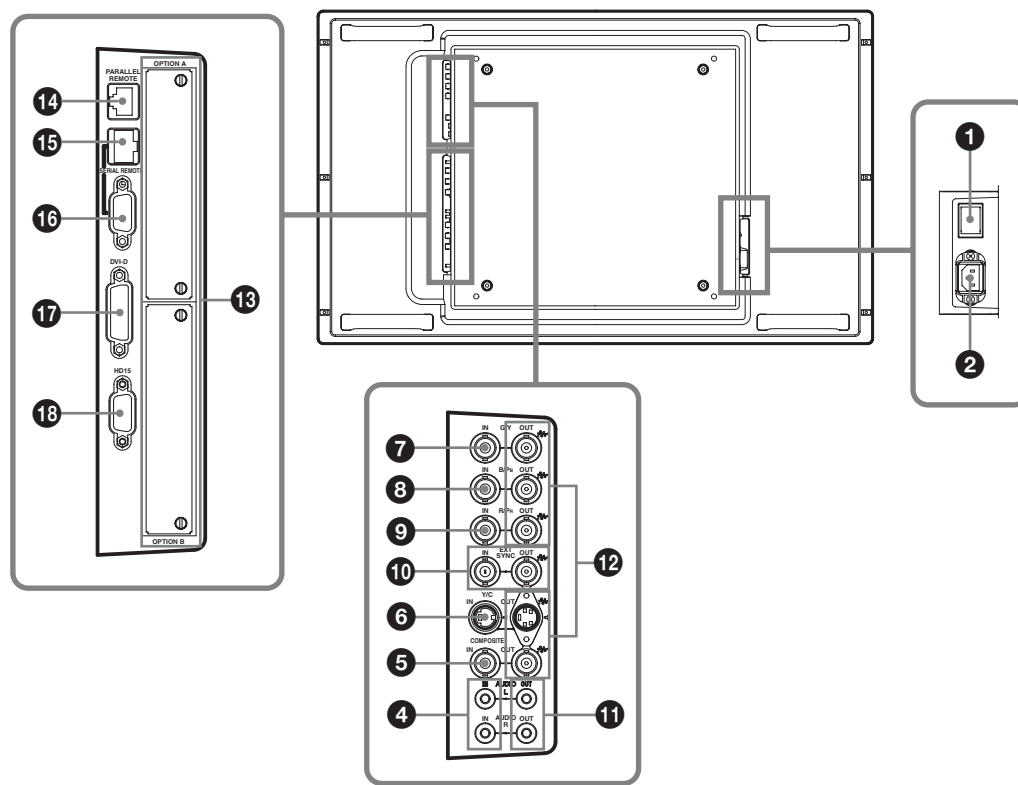
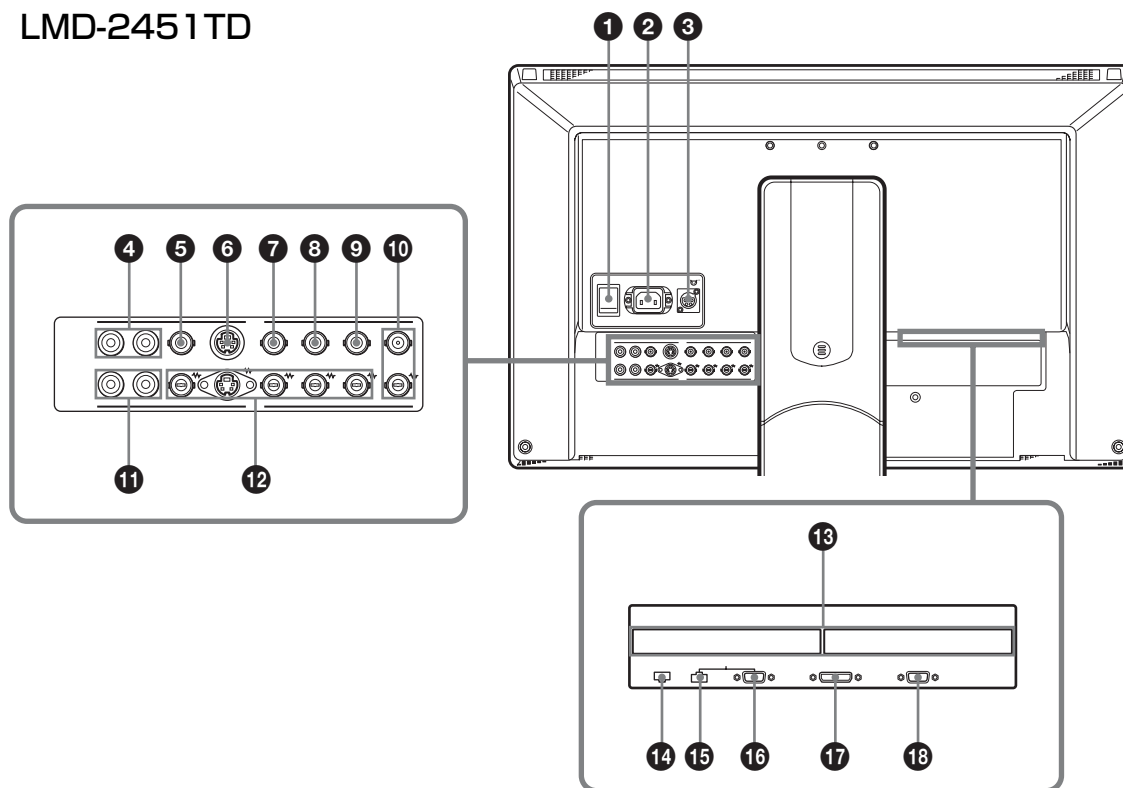
入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号												
	ビデオ *3、Y/C*3	白黒信号 *3	コンポーネント *4		RGB*4		SDI			コンピューター		3D	
			SD	HD	SD	HD	SD*5	HD*6	3G*11	DVI	HD15	HD-SDI *12, *13	DVI*13
コントラスト *1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブライト *1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クロマ *1	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
フェーズ *1	○ (NTSC)	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○
アパーチャー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
色温度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カラースペース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オートクロマフェーズ	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ACC	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
CTI	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
垂直シャープネス	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×
マトリクス *2	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
コンポーネントレベル	×	×	○ (480/60I)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
NTSC セットアップレベル	○ (NTSC)	○ (480/60I)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
スキャン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
アスペクト	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×
マーカー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×
ブルーオンリー	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×
MONO	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	×
H/V ディレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
APA	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
サイズ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
シフト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
ピッチ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
ドットフェーズ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
パワーセービング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
I/P モード *7	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
二画面表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ *9	○ *9	○ *15	○ *9
クローズドキャプション	○ *8	○ *8	×	×	×	×	○ *10	○ *10	×	×	×	×	×
チェッカーボード	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ *14	×
L/R スイッチ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ *14	×
ホロプターチェック	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
視差シミュレーション	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×

○：調整・設定できる項目
×：調整・設定できない項目

*1 SUB CONTROL の設定も同様です。
*2 コンポーネント信号（480/60I または 480/60P）入力で、コンポーネントレベルが SMPTE に設定されているときのみ切り換えできます。
*3 BKM-227W を装着すると入力数を増やすことができます。
*4 BKM-229X を装着すると入力数を増やすことができます。
*5 BKM-220D あるいは BKM-243HS、BKM-244CC、BKM-250TG が装着されているとき入力することができます。
*6 BKM-243HS あるいは BKM-244CC、BKM-250TG が装着されているとき入力することができます。
*7 インターレース信号のみ可能です。
*8 NTSC 信号のとき表示できます。フォーマット表示、マーカー表示、二画面表示のいずれかが「オン」のときは表示できません（「フォーマット表示」（31 ページ）、「マーカー表示」（32 ページ）、「二画面表示」（32 ページ）参照）。
*9 メイン画面でのみ入力選択ができます（「入力選択」（33 ページ）参照）。
*10 BKM-244CC が装着されているとき表示できます。
*11 BKM-250TG が装着されているとき入力することができます。
*12 シリアル番号が 7100001 以降の BKM-250TG が装着されているとき入力することができます。
*13「2D/3D 選択」が「3D」のとき、3D 表示が可能になります。
*14「2D/3D 選択」が「2D」のとき、動作可能になります。
*15 二画面表示のとき「SIDE BY SIDE」に設定した場合、2D 表示になります。

側面パネル (LMD-4251TD)、後面パネル (LMD-2451TD)

LMD-4251TD

LMD-2451TD

❶ ○/I 主電源スイッチ (LMD-4251TD)
主電源スイッチ (LMD-2451TD)

本機の主電源をオン / オフします。このスイッチを I 側にすると本機に電源が供給されます。

❷ AC IN ソケット

付属の電源コードを接続します。

❸ ⎓ 24V 端子（LMD-2451TD のみ）

外部 DC24V 電源を接続することにより、本機を動作させることができます。

ご注意

必ず指定の電圧値の電源を接続してください。

❹ AUDIO L/R IN（音声入力）端子（ピンジャック）

VTR やオーディオミキサーなどの音声出力端子と接続します。

❺ COMPOSITE IN（コンポジット入力）端子（BNC 型）

コンポジット信号の入力端子です。

❻ Y/C IN 端子（4 ピンミニ DIN）

Y/C 信号の入力端子です。

❼ G/Y IN 端子（BNC 型）

RGB 信号の G 信号、コンポーネント信号の Y（輝度）信号などの入力端子です。

❽ B/PB IN 端子（BNC 型）

RGB 信号の B 信号、コンポーネント信号の PB（青色差）信号などの入力端子です。

❾ R/PR IN 端子（BNC 型）

RGB 信号の R 信号、コンポーネント信号の PR（赤色差）信号などの入力端子です。

❿ EXT SYNC IN/OUT（外部同期入出力）端子（BNC 型）

外部同期信号を使う場合は、前面のファンクションボタンに割り当てられた外部同期ボタン（工場出荷時は F1 ボタン）を押します。

IN 端子

本機を外部同期で動作させるときに、外部同期信号発生器などからの基準信号を入力します。

ご注意

本機へジッターなどがあるビデオ信号を入力すると、画像が乱れることがあります。その場合は、TBC（タイムベースコレクター）の使用をおすすめします。

OUT 端子

IN 端子に接続した同期信号のループスルー出力端子です。本機と同期して動作させる、ほかのビデオ機器の外部同期入力端子と接続します。

この端子にケーブルを接続すると、入力の 75Ω 終端が自動的に解放され、IN 端子に入力された信号が、この端子から出力されます。

⓫ AUDIO L/R OUT（音声出力）端子（ピンジャック）

前面の入力切り換えボタンで選ばれた機器の音声信号が出力されます。

BKM-220D/243HS/244CC/250TG を取り付けていない場合は、ユーザー設定メニューの「入力設定」で選択された入力信号の音声が出力されます（36 ページ参照）。

BKM-220D/243HS/244CC/250TG を取り付けた場合は、ユーザー設定メニューの「オプションオーディオ設定」で選択されたチャンネルの音声が出力されます（36 ページ参照）。

出力される音声は、前面のスピーカーで確認できます（13 ページ参照）。

⓬ ループスルーアウト端子

❺ から ❾ の各入力端子に入力された信号がそのまま出力されます。入力されている信号を確認して、ほかのビデオ機器のアナログ入力端子（コンポジット、Y/C、アナログコンポーネントまたはアナログ RGB）と接続します。

⓭ 入力オプションスロット

別売の入力アダプターを取り付けることができます（21 ページ）。LMD-4251TD は上側がスロット A、下側がスロット B です。LMD-2451TD は左側がスロット A、右側がスロット B です。

前面の A-1、A-2、B-1 または B-2 ボタンを押して入力を選択します。

⓮ PARALLEL REMOTE（パラレルリモート）端子（モジュラーコネクター、8 ピン）

パラレルコントロールスイッチを構成してモニターを外部操作します。

◆ ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割り付けについて詳しくは、42 ページをご覧ください。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

⓯ SERIAL REMOTE（シリアルリモート）端子（RJ-45 型）

10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル（シールドタイプ、別売）でネットワークの LAN (10/100）端子または

ソニーモニターコントロールユニット BKM-15R に接続します。

◆ 詳しくは「プログラマー用インターフェース解説書」（付属の CD-ROM に収録、日本語と英語のみ）をご覧ください。

ご注意

- 別売の LAN ケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、シールドタイプのケーブルを使用してください。
- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。
  接続については本書の指示に従ってください。
- ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は 10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や通信品質を保証するものではありません。

⑯ SERIAL REMOTE（シリアルリモート）RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）

外部機器の RS-232C コントロール端子に接続します。
接続された外部機器からコントロールコマンドを送ることで、モニターの操作を行うことができます。

◆ ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割り付けについて詳しくは、43 ページをご覧ください。

◆ 詳しくは「プログラマー用インターフェース解説書」（付属の CD-ROM に収録、日本語と英語のみ）をご覧ください。

⑰ DVI-D 入力端子（DVI-D）

DVI Rev. 1.0 準拠のデジタル RGB 信号を入力します。
DVI 入力で SXGA 以上の解像度の信号を使用するときは、3 m 以内のケーブルをご使用ください。

⑱ HD15 入力端子（HD D-sub 15 ピン、凹）

アナログ RGB の映像信号（0.7 Vp-p、正極性）と同期信号を入力します。
プラグアンドプレイ（Plug & Play）機能は DDC2B に対応しています。

スタンドの高さを調節する (LMD-2451TD)

LMD-2451TD にはスタンドが標準装備されています。スタンド取り付け部の位置とアームを取り付ける位置を変えることにより、モニターの高さを 3 段階に変えることができます。高さによっては、スタンドを取り付けたまま入力アダプターを取り付けることもできます。
表中の A、B は、手順 **2** および **4** のイラストのネジ穴を示しています。

モニターの高さ

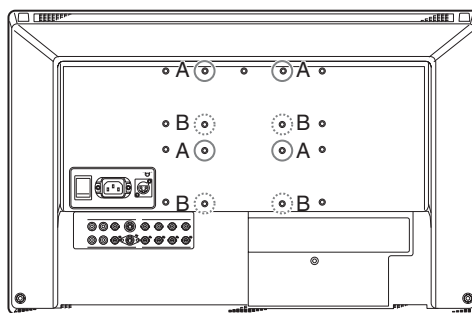
単位：mm

スタンド取り付け部位置	A	A	B	B
アーム取り付け位置	B	A	B	A
LMD-2451TD	– 3)	430.5	471.6 1)	497.9 1), 2)

1) スタンドを取り付けたまま入力アダプターを取り付けることができます。
2) 工場出荷時の設定です。
3) この組み合わせでの取り付けはできません。

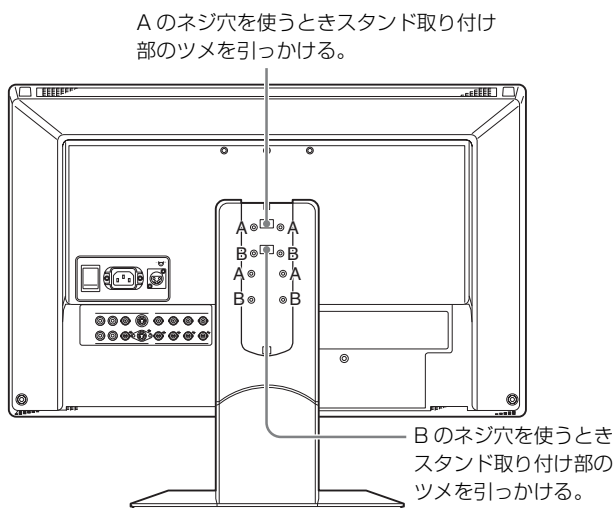
1 スタンド取り付け部を取りはずす（20 ページ参照）。

2 AまたはBのネジ穴にスタンド取り付け部を取り付ける。

工場出荷時は B の位置に取り付けられています。

A：モニターの位置を低くするときに使用するネジ穴
B：モニターの位置を高くするときに使用するネジ穴

3 スタンド取り付け部をネジ 4 本で固定する。

手順 **1** の「スタンド取り付け部を取りはずす」ではずしたネジを使います。

4 アームを取り付ける。

5 アームをネジ 4 本で固定する。

手順 **1** の「スタンド取り付け部を取りはずす」ではずしたネジを使います。

6 アームカバーを取り付ける。

スタンド取り付け部の取りはずし

1 柔らかいシートの上に LCD モニター面を下にして置く。

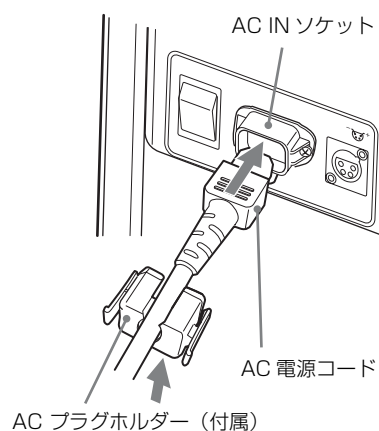
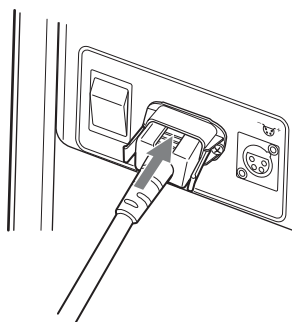
2 スタンドのアームカバーを上へスライドしてはずす。

3 ネジ 4 本をはずす。

4 アームを取りはずす。

5 ネジ 4 本をはずして、スタンド取り付け部を取りはずす。

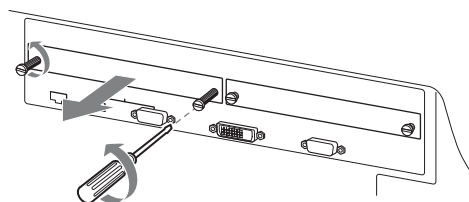
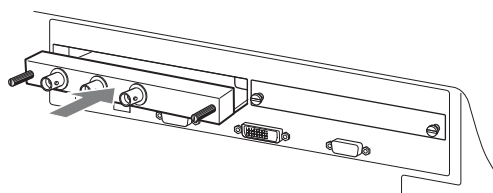
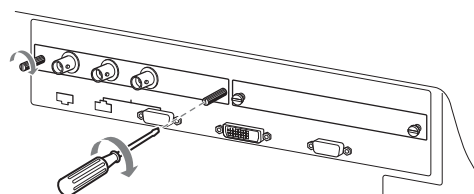
電源コードの接続

1 AC 電源コードを後面の AC IN ソケットに差し込み、AC 電源プラグホルダーを AC 電源コードに取り付ける。

2 固定レバーがロックするまで、AC 電源プラグホルダーをはめこむ。

電源コードをはずすには

AC 電源プラグホルダーの固定レバーを両側からはさんでロックをはずし、引き抜きます。

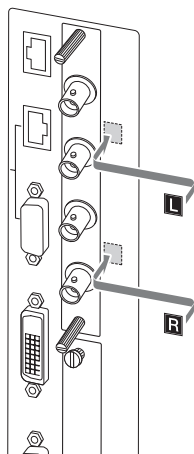
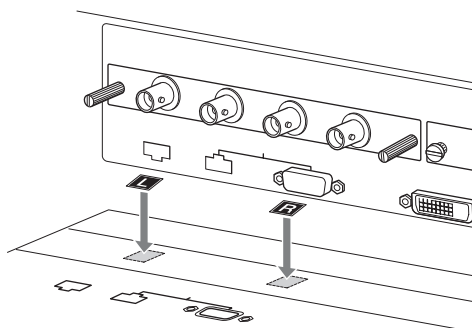
入力アダプターの取り付け

入力アダプターを取り付ける前に必ず電源ケーブルを抜いてください。

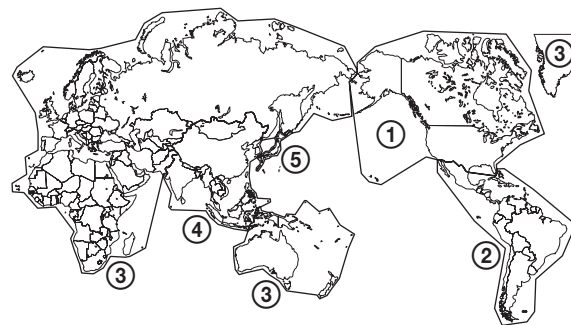
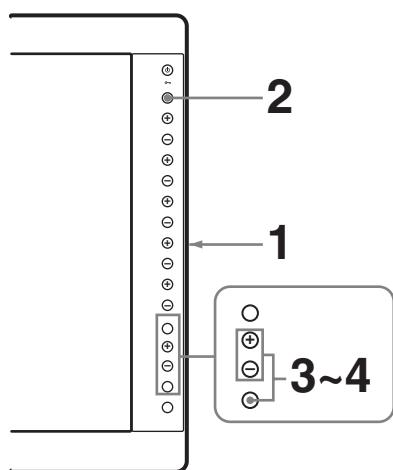
1 入力オプションスロットのパネルをはずす。

2 入力アダプターを入力オプションスロットに差し込む。

3 ネジで止める。

L/R シート（付属）の貼り付け

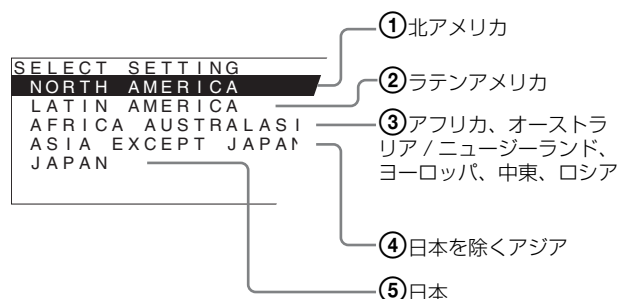
入力アダプターの端子周辺パネルに、L または R チャンネルの識別ができるように貼り付けてください。

貼り付け例

LMD-4251TD

LMD-2451TD

基本設定の選択

はじめてお使いになるときはお使いになる地域の選択を行ってください。
地域を選択すると、メニュー内の各項目がお使いの地域に合った値に設定されます。

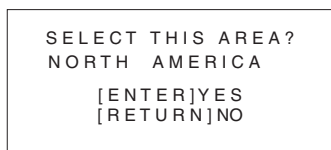
地域別基本設定値

		色温度	コンポーネントレベル	NTSCセットアップ	カラースペース
①**NORTH AMERICA**		D65	BETA7.5	7.5	SMPTE-C
②**LATIN AMERICA** PAL&PAL-N AREA	ARGENTINA	D65	SMPTE	0	EBU
	PARAGUAY	D65	SMPTE	0	EBU
	URUGUAY	D65	SMPTE	0	EBU
NTSC&PAL-M AREA	OTHER AREA	D65	BETA7.5	7.5	SMPTE-C
③**AFRICA AUSTRALASIA EUROPE MIDDLE-EAST**		D65	SMPTE	0	EBU
④**ASIA EXCEPT JAPAN**	NTSC AREA	D65	BETA7.5	7.5	SMPTE-C
	PAL AREA	D65	SMPTE	0	EBU
⑤**JAPAN**		D93	SMPTE	0	EBU

1 後面の主電源スイッチで電源を入れる。

SELECT SETTING 画面が表示されます。

2 CONTROL ボタンを押す。

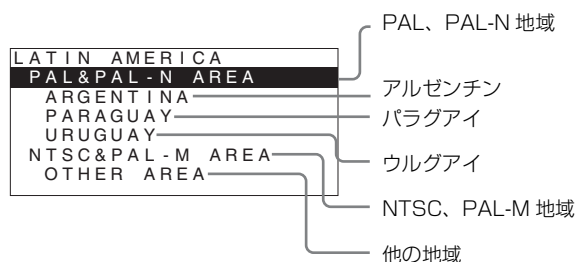
3 ＋または－ボタンを押して、本機をお使いになる地域を選び、ENTER ボタンを押す。

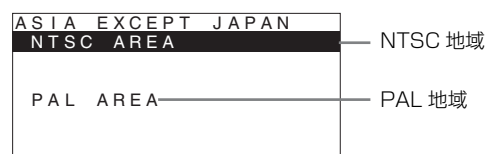
①、③、⑤ が選ばれたとき

確認画面が表示されます。地域が正しいことを確認してください。
間違っている場合は、RETURN ボタンを押してひとつ前の画面に戻り設定し直してください。

```
SELECT THIS AREA?
NORTH AMERICA
   [ENTER]YES
   [RETURN]NO
```

②、④ が選ばれたとき

次の画面が表示されますので＋または－ボタンで再度地域を選んで ENTER ボタンを押してください。
確認画面が表示されます。地域が正しいことを確認してください。
間違っている場合は、RETURN ボタンを押してひとつ前の画面に戻り設定し直してください。

② LATIN AMERICA が選ばれたとき：

④ ASIA EXCEPT JAPAN が選ばれたとき：

下の地図でグレーに色付けされた地域でお使いの場合は、NTSC AREA を選んでください。
他の地域でお使いの場合は、PAL AREA を選んでください。

4 ENTER ボタンを押す。

SELECT SETTING 画面が消えて、自動的にメニュー内の各項目が、選択した地域に合った値に設定されます。

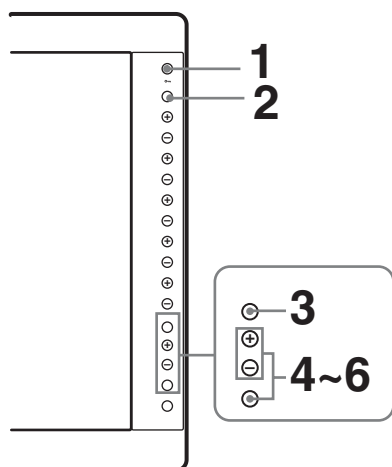
ご注意

地域を間違えて設定した場合は、メニューを使い以下の項目を変更してください。

- 色温度（28 ページ）
- コンポーネントレベル（30 ページ）
- NTSC セットアップ（30 ページ）
- カラースペース（28 ページ）

設定値については「地域別基本設定値」（22 ページ）をご覧ください。

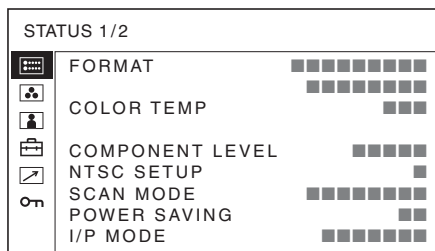
メニュー表示言語の切り換え

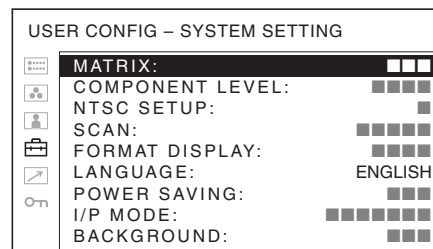
メニュー画面やメッセージの表示言語を 7 言語（ENGLISH、FRANÇAIS、DEUTSCH、ESPAÑOL、ITALIANO、日本語、中文）の中から選ぶことができます。
メニューの言語は「ENGLISH（英語）」に初期設定されています。
メニュー画面のイラスト上の ■ マーク部分に現在の設定値が表示されます。

1 電源を入れる。

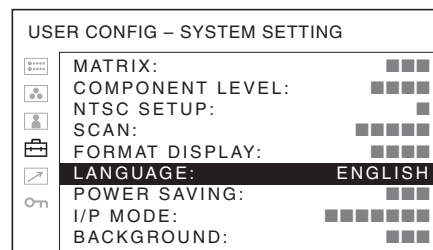
2 CONTROL ボタンを押す。

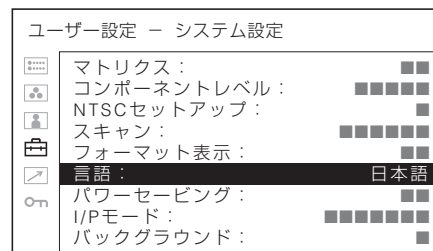
操作ボタンが表示されます。

3 MENU ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色で表示されます。

4 ＋または－ボタンを押して USER CONFIG（ユーザー設定 ）メニューの SYSTEM SETTING（システム設定）を選び、ENTER ボタンを押す。

選んだメニューの設定項目（アイコン）が黄色で表示されます。

5 ＋または－ボタンを押して「LANGUAGE」を選び、ENTER ボタンを押す。

選んだ項目が黄色で表示されます。

6 ＋または－ボタンを押して表示させたい言語を選び、ENTER ボタンを押す。

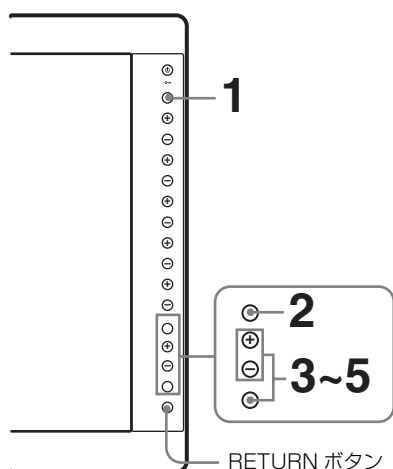
画面表示が選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

MENU ボタンを押します。
約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

メニューの操作方法

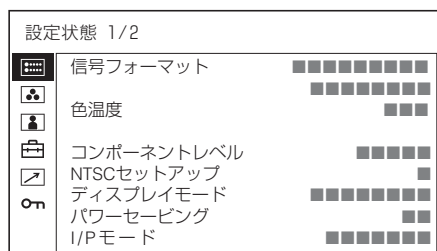
本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

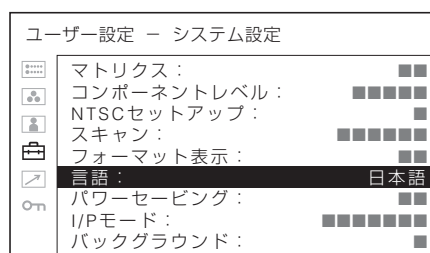
◆ 表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り換え」（24ページ）をご覧ください。

メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に現在の設定値が表示されます。

1 CONTROL ボタンを押す。

操作ボタンが表示されます。

2 MENU ボタンを押す。

メニュー選択画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色で表示されます。

3 ＋または－ボタンを押してメニューを選び、ENTER ボタンを押す。

選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。

4 項目を選ぶ。

＋または－ボタンを押して設定項目を選び、ENTER ボタンを押します。
変更する項目が黄色で表示されます。
項目が複数メニューページにおよぶ場合、＋または－ボタンを押して必要なメニューページに入ります。

5 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：
数値を大きくするときは、＋ボタンを押します。
数値を小さくするときは、－ボタンを押します。
ENTER ボタンを押すと確定され、元の画面に戻ります。
設定を選ぶ場合：
＋または－ボタンを押して設定を選び、ENTER ボタンを押します。
調整や設定値を元に戻す場合：
ENTER ボタンを押す前に、RETURN ボタンを押します。

ご注意

- 設定項目で黒色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示に変わるとアクセスが可能になります。
- キーロックがオンに設定されている場合、すべての設定項目が黒色表示になります。設定変更が必要な場合は、キーロックをオフに設定し直してから行ってください。

◆ キーロックについて詳しくは、39 ページをご覧ください。

画面を 1 つ前に戻すには

RETURN ボタンを押します。

メニュー画面を消すには

MENU ボタンを押します。
約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

メニューを使った調整

項目一覧

本機のスクリーンメニューは次のような構成になっています。

設定状態（表示のみ）

ビデオ入力のとき

信号フォーマット
色温度
コンポーネントレベル
NTSC セットアップ
ディスプレイモード
パワーセービング
I/P モード
機種名およびシリアルナンバー
オプション A およびシリアルナンバー
オプション B およびシリアルナンバー

DVI/HD15 入力のとき

信号フォーマット
水平周波数
垂直周波数
色温度
パワーセービング
機種名およびシリアルナンバー
オプション A およびシリアルナンバー
オプション B およびシリアルナンバー

ホワイトバランス / カラースペース

色温度
マニュアル調整
カラースペース

ユーザーコントロール

ビデオ入力のとき

オートクロマ／フェーズ
サブコントロール
ピクチャーコントロール
入力設定

DVI/HD15 入力のとき

サブコントロール
ピクチャーコントロール

ユーザー設定

システム設定
　マトリクス
　コンポーネントレベル
　NTSC セットアップ
　スキャン
　フォーマット表示
　言語
　パワーセービング
　I/P モード
　バックグラウンド
マーカー設定
　マーカー表示
　マーカー選択
　センターマーカー
　セーフエリア
　マーカーレベル
　マーカーマット
二画面設定
　二画面表示
　表示選択
　入力選択 *1
　画面位置
　画面位置左右
　表示サイズ

*1 LMD-4251TD では、ウェーブフォームは選択できません。

ファンクションボタン設定
　F1 ボタン
　F2 ボタン
　F3 ボタン
　F4 ボタン
クローズドキャプション設定
　コンポジット、Y/C 入力のとき
　キャプション表示
　キャプション選択
　BKM-244CC からの信号入力のとき
　（BKM-244CC 装着時）
　キャプション表示
　BKM-244CC
オーディオ設定
　入力設定
　オプションオーディオ設定
オプション設定 *2
　ALM（オーディオレベルメーター）画面表示
　画面位置
　画像透過度
　T/C ディスプレイ
　フォーマット
　画面位置

*2 BKM-250TG 装着時のみ表示

3D 設定 *3
　2D/3D 選択
　視差シミュレーション
　ホロプターチェック
　左右反転
　ペイロード ID

*3 BKM-250TG からの入力信号、または DVI からの入力信号を選択時のみ表示。

リモート

パラレルリモート
シリアルリモート

キーロック

キーロック

調整と設定

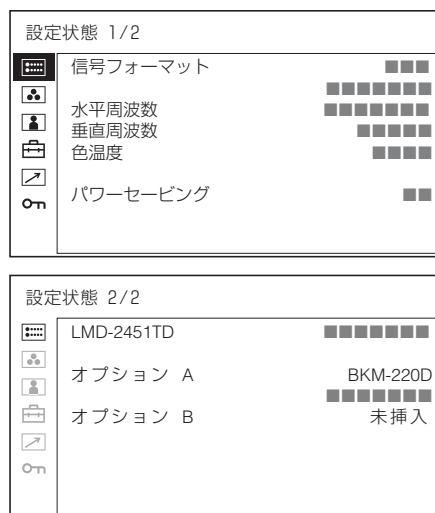
設定状態メニュー

本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。

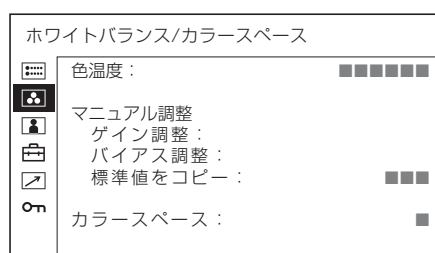
ビデオ入力のとき

- 信号フォーマット
- 色温度
- コンポーネントレベル
- NTSC セットアップ
- ディスプレイモード
- パワーセービング
- I/P モード
- 機種名およびシリアルナンバー
- オプション A およびシリアルナンバー
- オプション B およびシリアルナンバー

DVI/HD15 入力のとき

設定状態 2/2
LMD-2451TD
オプション A BKM-220D
オプション B 未挿入

- 信号フォーマット
- 水平周波数
- 垂直周波数
- 色温度
- パワーセービング
- 機種名およびシリアルナンバー
- オプション A およびシリアルナンバー
- オプション B およびシリアルナンバー

ホワイトバランス / カラースペースメニュー

画質のホワイトバランス / カラースペースを調整するメニューです。
ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。
推奨品：コニカミノルタ社製カラーアナライザー CA-210

サブメニュー	設定
色温度	色温度を「D65」、「D93」、「ユーザー設定」から設定します。
マニュアル調整	色温度を「ユーザー設定」にしたとき、表示が黒色から白色に変わり、調整できるようになります。 調整値はメモリーされます。 • **ゲイン調整**：カラーバランス（ゲイン）を調整します。 • **バイアス調整**：カラーバランス（バイアス）を調整します。 • **標準値をコピー**：「D65」または「D93」を選択すると、選択された色温度のホワイトバランスデータが、「ユーザー設定」にコピーされます。
カラースペース	色域を「EBU」、「SMPTE-C」、「ITU-709」、「オフ」から設定します。「オフ」に設定すると液晶パネル本来の色を再現します。

ユーザーコントロールメニュー

画質を調整するメニューです。
入力信号によって調整できない項目は黒色で表示されます。

◆ 入力信号と調整・設定項目については、15 ページをご覧ください。

ビデオ入力のとき

サブメニュー	設定
オートクロマ／フェーズ	色の濃さ（クロマ）と色あい（フェーズ）を調整します。 • **オート調整値**：自動調整値のオン、オフを設定します。「オフ」に設定するとクロマとフェーズの値が工場出荷値となり、「オン」に設定すると自動調整値になります。 • **調整スタート**：カラーバー信号（フル / SMPTE/EIA）を画面に出して、ENTER ボタンを押すと、自動的にオート調整画面が始まります。調整終了後、MENU ボタンを押すと調整画面が消えます。調整が正常終了した場合、「オート調整値」は自動的に「オン」になります。
サブコントロール	コントラスト、ブライト、クロマ、フェーズは前面の調整ボタンの調整範囲を微調整します。 • **コントラスト**：コントラストを調整します。 • **ブライト**：明るさを調整します。 • **クロマ**：色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。 • **フェーズ**：色相（色あい）を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。 • **アパーチャー：**シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかになります。 • **バックライト：**バックライトを調整します。設定値を変えるとバックライトの明るさが変わります。
ピクチャーコントロール	画像を調整します。 • **ACC（オートカラーコントロール）**：オートカラーコントロール回路のオン、オフを設定します。より正確なクロマレベルを確認したいとき「オフ」にします。通常は「オン」にしておきます。 • **CTI（クロマトランジェントインプルーブメント）**：色の解像度の低い信号を入力時、くっきりした画像を出すことができます。設定値が大きくなるとくっきりします。 • **垂直シャープネス**：垂直方向にシャープネスを付加してくっきりした画像を出すことができます。設定値が大きくなるとくっきりします。

サブメニュー	設定
入力設定	• **シフト H**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 • **シフト V**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。

DVI/HD15 入力のとき

＊ 1/3 画面の項目は調整できません。

サブメニュー	設定
サブコントロール	コントラスト、ブライト、クロマ、フェーズは前面の調整ボタンの調整範囲を微調整します。 • **コントラスト**：コントラストを調整します。 • **ブライト**：明るさを調整します。 • **クロマ**：色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。 • **フェーズ**：色相（色あい）を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。 • **アパーチャー：**シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかになります。 • **バックライト：**バックライトを調整します。設定値を変えるとバックライトの明るさが変わります。

サブメニュー	設定
ピクチャーコントロール	画像がいちばんくっきりと見える位置に合わせます。 • **サイズH**：画像の水平方向の大きさを調整します。 設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。 • **サイズV**：画像の垂直方向の大きさを調整します。 設定値が大きくなると画面の垂直方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の垂直方向の大きさが小さくなります。 • **シフトH**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 • **シフトV**：画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。 • **ドットフェーズ**：位相を調整します。 APA（34ページ）を調整した後、さらに画像をくっきりさせたい場合に調整します。 • **ピッチ**：画像の左端を固定したまま、水平方向の画面の大きさを調整します。 設定値が大きくなると画面の幅が広がり、小さくなると画面の幅が狭くなります。 • **解像度**：コンピューター信号を入力時、入力信号がXGA/60やWXGA/60、UXGA/60、WUXGA/60などの信号を判別するのが難しいときに、設定します。 • **XGA**：XGAとして表示します。 • **WXGA**：WXGAとして表示します。 • **UXGA**：UXGAとして表示します。 • **WUXGA**：WUXGAとして表示します。 • **リセット**：入力信号のサイズH、サイズV、シフトH、シフトV、ドットフェーズ、ピッチが工場設定値に戻ります。

ユーザー設定メニュー

システム設定、マーカー設定、二画面設定、ファンクションボタン設定、クローズドキャプション設定、オーディオ設定、オプション設定、3D設定を行います。

システム設定

サブメニュー	設定
マトリクス	480/60I、480/60P信号のみに設定できます。601または709を選択します。
コンポーネントレベル	以下の3種類のなかから、入力されているコンポーネント信号の種類を選択します。 • **SMPTE**：100/0/100/0のコンポーネント信号のとき • **BETA0**：100/0/75/0のコンポーネント信号のとき • **BETA7.5**：100/7.5/75/7.5のコンポーネント信号のとき
NTSCセットアップ	NTSC信号のセットアップのレベルを選択します。日本は0で、アメリカでは7.5で運用されています。このため輸入ソフトには7.5のものがあります。
スキャン	スキャン機能を割り当てたボタンで選択できるスキャンモードを変更することができます。「スタンダード」、「フル＋ネイティブ」から選択します。表示内容は選択したモードによって変わります（31ページ「スキャンモードイメージ」参照。 **スタンダードのとき** ノーマルスキャン（0%スキャン）、オーバースキャン（5%オーバースキャン） **フル＋ネイティブのとき** ノーマルスキャン、オーバースキャン、フルスクリーン(LMD-2451TD)、ネイティブから選択できます。 ネイティブは、以下の信号入力時のみ有効です。 1080i、1080P、720P。 1080Pは、BKM-250TGを装着したとき選択できます。

サブメニュー	設定
フォーマット表示	フォーマット表示とスキャンモードが表示されます。 • **オン**：常に表示されます。 • **オフ**：表示されません。 • **オート**：信号入力開始後約 10 秒間だけ表示されます。
言語	メニュー表示やメッセージの表示言語を以下の 7 言語から選択できます。 • **ENGLISH**：英語 • **FRANÇAIS**：フランス語 • **DEUTSCH**：ドイツ語 • **ESPAÑOL**：スペイン語 • **ITALIANO**：イタリア語 • **日本語**：日本語 • **中文**：中国語
パワーセービング	節電モードのオン、オフを設定します。「オン」に設定すると、本体に信号が入力されない状態が約 1 分以上続くと節電モードになります。
I/P モード（映像遅延最小）	インターレース信号を入力したとき、機器内部の画像処理による遅延を最小にしたいとき設定します。 • **インタフィールド**：画質優先のモードです。フィールド間での映像の動きを考慮し、補間を行います。処理時間は「フィールドマージ」または「ラインダブラー」に設定したときより長くなります。工場出荷時の設定です。 • **フィールドマージ**：処理時間が短くなります。動きを考慮せず、奇数フィールドと偶数フィールドのラインをそのまま交互に組み合わせます。静止画を確認する場合に適しています。 • **ラインダブラー**：処理時間が短くなります。フィールドに関係なく、データの到着順にラインを 2 回ずつ引く補間を行います。ラインフリッカーが見えるので、テロップ制作などのラインフリッカーチェック用途にもご使用いただけます。
バックグラウンド	画面の上下や左右に表示される黒い帯の明るさを設定します。 • **オフ**：暗く（黒で）表示します。 • **オン**：明るく（グレーで）表示します。

スキャンモードイメージ

1080P は BKM-250TG 装着時のみ有効。

入力信号	4:3	16:9
ネイティブ（720P）	–	LMD-4251TD: 1280 × 720 LMD-2451TD: 1280 × 720

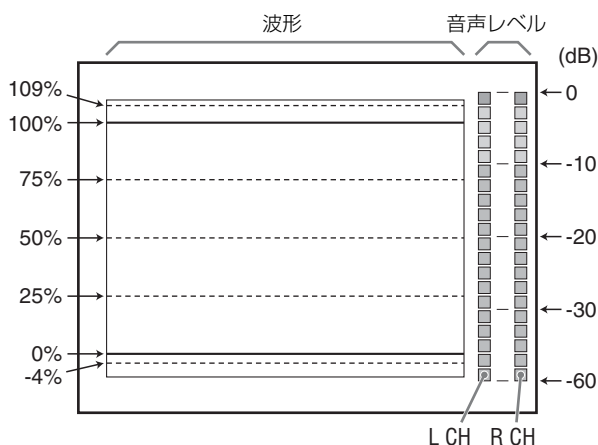
マーカー設定

ユーザー設定 – マーカー設定
マーカー表示：
マーカー選択：
センターマーカー：
セーフエリア：
マーカーレベル：
マーカーマット：

サブメニュー	設定
マーカー表示	マーカーを表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。 **ご注意** スキャン設定で「ネイティブ」を選択している場合、マーカーを表示できません。マーカーを表示したい場合は「ネイティブ」以外を選択してください。
マーカー選択	フィルムのフレーム枠を画面に表示させるとき、フィルムに合わせてアスペクト比を選択できます。 **アスペクト機能を割り当てたボタンで 16:9 が選ばれているとき** 4:3、15:9、14:9、13:9、1.85:1、2.35:1、1.85:1 & 4:3、オフから選択します。 **アスペクト機能を割り当てたボタンで 4:3 が選ばれているとき** 16:9 またはオフを選択します。
センターマーカー	画像のセンターを表すマーカーを表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。
セーフエリア	アスペクト機能を割り当てたボタンで設定したアスペクト比に対するセーフエリアサイズを選択できます。オフ、80%、85%、88%、90%、93% から選択します。 マーカーが表示されているときはマーカーに対するセーフエリアを表示します。
マーカーレベル	「マーカー選択」と「センターマーカー」、「セーフエリア」表示の輝度を設定します。1 から 3 に設定することができます。設定値が小さくなると暗くなります。
マーカーマット	マーカー表示の外側の部分の画像にマットをかけるかどうかを設定します。 • **オフ**：マットの設定をしません。 • **ハーフ**：画像が暗くなるマットをかけます。 • **ブラック**：黒いマットをかけます。

二画面設定

サブメニュー	設定
二画面表示	二画面表示をするとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。 **ご注意** • メイン画面とサブ画面のフレーム周波数が違う場合は、サブ画面の映像が乱れることがあります。メイン画面に信号がない場合は、表示が不安定になることがあります。 • 二画面表示をするときは、マーカーの機能は使用できません。 • 3D入力信号はPIPモードのメイン画面にのみ 3D 表示できます。その他の場合は、3D 表示になりません。
表示選択	• **PIP/POP**：16:9 画面のときはサブ画面がメイン画面の中に表示され、4:3 画面のときは横に表示されます。 • **SIDE BY SIDE**：メイン画面が左にサブ画面が右に表示されます。 **ご注意** • HD15 または DVI 信号を入力しているとき、「SIDE BY SIDE」は使用できません。 • 「SIDE BY SIDE」のとき、CTI（29 ページ）機能は使用できません。 • 「SIDE BY SIDE」のとき、3D 表示信号は 2D 表示になります。

サブメニュー	設定
入力選択	サブ画面の入力を設定します。コンポジット、Y/C、RGB、コンポーネント、オプション A-1、オプション A-2、オプション B-1、オプション B-2、ウェーブフォーム、オフから選択します。 ウェーブフォームを選択すると、波形と音声レベルが表示されます。（音声レベルは BKM-220D/243HS/244CC/250TG が接続されているとき表示されます。） 波形と音声レベルは下図の内容を示しています。（実際には、波形図のパーセンテージ、音声レベルの L/R CH、スケールの単位や数値は画面に表示されません。） LMD-4251TD ではウェーブフォームを選択できません。 **ご注意** • コンポジットと Y/C、RGB とコンポーネント、オプション A-1 とオプション A-2、オプション B-1 とオプション B-2 の組み合わせでの二画面表示はできません。 • 二画面表示が「オン」に設定されていても、入力選択で「オフ」が選択されていると、サブ画面は表示されません。
画面位置	サブ画面の表示位置を設定します。4:3 画面のときは 1 から 3 の中から選択できます。16:9 画面のときは 1 から 4 の中から選択できます。 **4:3 画面のとき** • **1**：上 • **2**：中 • **3**：下 **16:9 画面のとき** • **1**：左下 • **2**：右下 • **3**：右上 • **4**：左上

サブメニュー	設定
画面位置左右	二画面表示を POP に設定し、4:3 画面にサブ画面を表示するとき、メイン画面の位置を設定します。 • **右**：メイン画面をサブ画面の右にするとき • **左**：メイン画面をサブ画面の左にするとき
表示サイズ	サブ画面の大きさを設定します。1 から 3 に設定することができます。設定値が大きくなるとサイズが大きくなります。

ファンクションボタン設定

サブメニュー	設定
F1 ボタンから F4 ボタン	前面パネルの F1 ボタンから F4 ボタンに機能を割り当て、機能をオン / オフすることができます。 スキャン、アスペクト、外部同期、I/P モード、二画面表示、CLOSED CAPTION、MONO、H/V ディレイ、マーカー、APA、ブルーオンリー、2D/3D 選択、チェッカーボード、L/R スイッチ、ホロプターチェック、視差シミュレーションを割り当てることができます。 **工場出荷時の設定** • **F1 ボタン**：外部同期 • **F2 ボタン**：スキャン • **F3 ボタン**：アスペクト • **F4 ボタン**：H/V ディレイ

ファンクションボタンに割り当てられる機能について

スキャン

メニューの「スキャン」（30 ページ）で選択した「スタンダード」または「フル＋ネイティブ」の設定により、画像のスキャンサイズを変えることができます。

アスペクト

画面のアスペクト（縦横比）を変えたいときボタンを押して 4:3 または 16:9 を選びます。

ご注意

LMD-2451TD は 16:10 パネルのため、16:9 表示をすると上下に黒い帯が出ますが故障ではありません（「スキャンモードイメージ」（31 ページ）参照）。

外部同期

EXT SYNC IN 端子から入力された外部同期信号で同期をとるときボタンを押します。
外部同期を割り当てたボタンはコンポーネント、RGB 入力時のみ動作します。

I/P モード

インターレース信号を入力時、機器内部の画像処理による遅延を最小にしたいときボタンを押します。押すたびにインタフィールド➞フィールドマージ➞ラインダブラーに切り換わります（31 ページ）。

二画面表示

二画面表示をしたいときボタンを押します。二画面の設定は二画面設定メニューで行います（32 ページ）。

CLOSED CAPTION（クローズドキャプション）

字幕表示をしたいときボタンを押します。字幕の設定はクローズドキャプション設定メニューで行います（35 ページ）。
BKM-227W から入力された信号は機能しません。

MONO（白黒）

画面を白黒にしたいときボタンを押します。もう一度押すとカラーに戻ります。

H/V （水平 / 垂直）ディレイ

水平、垂直同期信号をモニターしたいときボタンを押します。

マーカー

マーカーを表示したいときボタンを押します。アスペクトマーカーとセーフエリアサイズの設定はマーカー設定メニューで行います（32 ページ）。

APA (Auto Pixel Alignment)

HD15 入力端子に信号が入力されている際に、自動的にくっきり見える位置を得たいときボタンを押します。入力信号によって微調整が必要な場合は、「ドットフェーズ」（30 ページ）をご覧ください。
メニュー画面が表示されているとき APA は機能しません。

ご注意

入力信号によっては正常に終了しないことがあります。その際は「ドットフェーズ」（30 ページ）を調整してください。

ブルーオンリー

赤と緑の信号をカットし、青信号のみを白黒画像として表示したいときボタンを押します。色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）の調整、信号ノイズの監視が容易に行えます。

2D/3D 選択

2D 表示から 3D 表示に切り換えるときボタンを押します。3D 表示方式は、3D 設定メニューの「2D/3D 選択」で設定します。もう一度押すと 3D 表示から 2D 表示に戻ります。HD-SDI 信号の 3D 表示機能を使用する場合は、シリアル 7100001 以降の BKM-250TG をご使用ください。

チェッカーボード

2D 表示しているとき、BKM-250TG の IN (INPUT)-1 端子から入力された信号と IN (INPUT)-2 端子から入力された信号を市松模様に表示し、2 つの信号を同時に確認できます。もう一度押すと元の入力信号表示に戻ります。HD-SDI 信号の 3D 表示機能を使用する場合は、シリアル 7100001 以降の BKM-250TG をご使用ください。

ご注意

2D 表示時の機能です。3D 表示時には動作しません。

L/R スイッチ

デュアルストリームの HD-SDI 信号を 2D 表示するとき、BKM-250TG の IN (INPUT)-1 端子から入力された信号と IN (INPUT)-2 端子から入力された信号をすばやく切り換え、2 つの信号を比較することができます。HD-SDI 信号の 3D 表示機能を使用する場合は、シリアル 7100001 以降の BKM-250TG をご使用ください。

ご注意

2D 表示時の機能です。3D 表示時には動作しません。

ホロプターチェック

3D 表示の左右信号の表示方法を切り換えるときボタンを押します。表示方法の設定は 3D 設定メニューの「ホロプターチェック」で行います（37 ページ）。もう一度押すと元の表示に戻ります。HD-SDI 信号の 3D 表示機能を使用する場合は、シリアル 7100001 以降の BKM-250TG をご使用ください。

ご注意

3D 表示の機能です。2D 表示時には動作しません。

視差シミュレーション

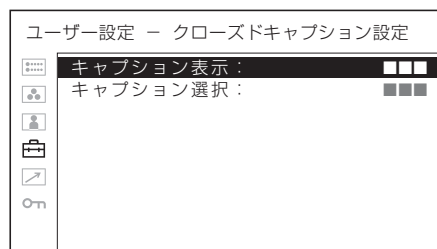
3D 表示の左右信号の表示位相を変えることで、擬似的に立体感を確認します。+ または – ボタンを押すと、選択されている信号の表示位相が変化します。表示位相を変化させたい信号は、3D 設定メニューの「視差シミュレーション」で設定します。もう一度押すと元の表示位相に

戻ります。HD-SDI 信号の 3D 表示機能を使用する場合は、シリアル 7100001 以降の BKM-250TG をご使用ください。

ご注意

「3D 信号フォーマット」で「デュアル」を選択したときのみ動作します。

クローズドキャプション設定

コンポジット、Y/C 入力のとき

サブメニュー	設定
キャプション表示	キャプションを表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。 **ご注意** キャプション表示をするときは、「フォーマット表示」（31 ページ）を「オフ」または「オート」に、「マーカー表示」（32 ページ）、「二画面表示」（32 ページ）を「オフ」に設定してください。
キャプション選択	字幕表示の設定を行います。 オフ、CC1、CC2、CC3、CC4、テキスト 1、テキスト 2 から選択します。

BKM-244CC からの信号入力のとき

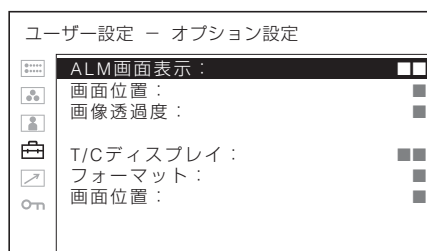
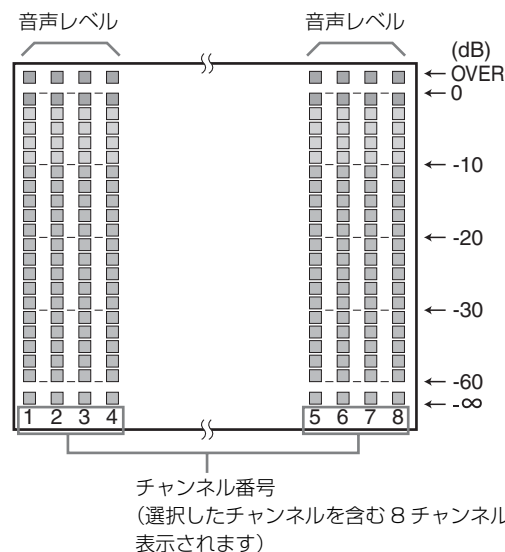
（BKM-244CC 装着時）

サブメニュー	設定
キャプション表示	キャプションを表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。
BKM-244CC	クローズドキャプションの表示を設定します。 • **タイプ：**クローズドキャプションの方式を設定します。 • **708：**EIA/CEA-708 規格のクローズドキャプション信号を表示するとき選択します。 • **608（708）：**EIA/CEA-708 規格で伝送される EIA/CEA-608 規格のクローズドキャプション信号を表示するとき選択します。 • **608（ANC）：**アンシラリーデータとして伝送される EIA/CEA-608 規格のクローズドキャプション信号を表示するとき選択します。 • **608（VBI）：**21 ライン上で伝送される EIA/CEA-608 規格のクローズドキャプション信号を表示するとき選択します。 • **708：**タイプで「708」を選択したとき表示され、字幕表示の設定を行います。 1 から 6 の中から選択します。 • **608：**タイプで「608（708）」、「608（ANC）」、「608（VBI）」を選択したとき表示され、字幕表示の設定を行います。 CC1、CC2、CC3、CC4、テキスト 1、テキスト 2、テキスト 3、テキスト 4 から選択します。 • **キャプションレベル：**文字の輝度を設定します。 1、2、3 から選択します。 **ご注意** BKM-244CC を 2 枚装着しているときは、最後に設定した情報が両方の BKM-244CC に適用されます。

オーディオ設定

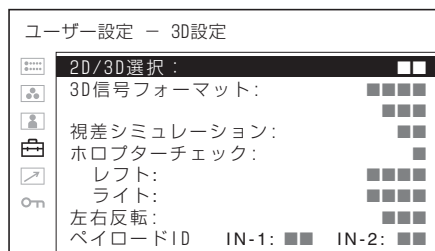
サブメニュー	設定
入力設定	入力するオーディオ信号を選択します。 • **オール**：BKM-220D/243HS/244CC/250TG を除いた入力の音声が出ます。 • **コンポジット**：COMPOSITE ボタンを押すとこの音声が出ます。 • **Y/C**：Y/C ボタンを押すとこの音声が出ます。 • **RGB**：RGB ボタンを押すとこの音声が出ます。 • **コンポーネント**：COMPONENT ボタンを押すとこの音声が出ます。 • **HD15**：HD15 ボタンを押すとこの音声が出ます。 • **DVI**：DVI ボタンを押すとこの音声が出ます。
オプションオーディオ設定	BKM-220D/243HS/244CC/250TG 装着時、入力アダプターごとに音声チャンネルを設定します。 CH1、CH2、CH1+CH2、CH3、CH4、CH3+CH4、CH5、CH6、CH5+CH6、CH7、CH8、CH7+CH8、CH9、CH10、CH9+CH10、CH11、CH12、CH11+CH12、CH13、CH14、CH13+CH14、CH15、CH16、CH15+CH16、オフから選択できます。 二画面表示をしているとき、設定したチャンネルの L/R の音声レベルを画面に表示することができます（「二画面設定」（32 ページ）参照）。 デュアルストリーム HD-SDI 信号を入力するときは、IN (INPUT)-1 端子から入力された信号のみ再生表示できます。

オプション設定

＊ BKM-250TG が装着されているときのみ表示されます。

サブメニュー	設定
ALM 画面表示	ALM（オーディオレベルメーター）画面表示をするとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。 音声レベルは下図の内容を示しています。（実際には、音声レベルのスケールの単位や数値は画面に表示されません。）

サブメニュー	設定
画面位置	ALM 画面の表示位置を設定します。1 または 2 を選択できます。 • **1**：上 • **2**：下
画像透過度	ALM 画面表示の背景を、1 と 2 から選択できます。 • **1**：背景が黒色になります。表示していた画像は背景の後ろに隠れます。 • **2**：背景が透けます。表示していた画像は ALM 画面の後ろに透けて表示されます。
T/C ディスプレイ	タイムコード画面を表示するとき「オン」に設定します。表示しないときは「オフ」に設定します。

サブメニュー	設定
フォーマット	タイムコードのフォーマットを設定します。 • **VITC**：VITC フォーマットで表示するとき選択します。 • **LTC**：LTC フォーマットで表示するとき選択します。
画面位置	タイムコードの表示位置を設定します。1 または 2 を選択できます。 • **1**：下 • **2**：上

3D 設定

＊ BKM-250TG の入力および DVI 入力が選択されているときのみ表示されます。
＊ DVI 入力が選択されているときは、2D/3D 選択のみ表示されます。
＊ HD-SDI 信号の 3D 表示機能を使用する場合は、シリアル番号 7100001 以降の BKM-250TG をご使用ください。
＊ BKM-250TG の IN (INPUT)-1 端子は LEFT 信号入力用端子として、IN (INPUT)-2 端子は RIGHT 信号入力用端子として動作します。
＊ 720/50P、60P 信号は、ネイティブスキャンで表示されます。

サブメニュー	設定
2D/3D 選択	2D/3D 表示を切り換えます。 • **2D**: 入力信号を 2D 表示するときに選択します。 • **3D**: 入力信号を 3D 表示するときに選択します。

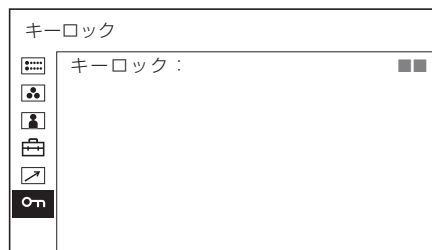
サブメニュー	設定
3D 信号フォーマット	3D 表示信号フォーマットを選択します。 • **3G-B**：3G Level-B 方式の HD-SDI 信号を 3D 表示するときに選択します。 • **INTER**：1080/50i および 1080/60i 信号を表示します。 • **PROG**：1080/24P、25P、30P および 720/50P、60P 信号を表示します。 • **PSF**：1080/24PsF および 1080/25PsF 信号を表示します。 • **デュアル**：デュアルストリーム方式の HD-SDI 信号を 3D 表示するときに選択します。 • **INTER**：1080/50i および 1080/60i 信号を表示します。 • **PROG**：1080/24P、25P、30P および 720/50P、60P 信号を表示します。 • **PSF**：1080/24PsF および 1080/25PsF 信号を表示します。 • **シーケンシャル**：フィールドシーケンシャル方式の HD-SDI 信号を 3D 表示するときに選択します。 • **サイド・バイ・サイド**：サイド・バイ・サイド方式の HD-SDI 信号を 3D 表示するときに選択します。 • **INTER**：1080/50i および 1080/60i 信号を表示します。 • **PROG**：1080/24P、25P、30P および 720/50P、60P 信号を表示します。 • **PSF**：1080/24PsF および 1080/25PsF 信号を表示します。 • **ライン・バイ・ライン**：ライン・バイ・ライン方式の HD-SDI 信号を 3D 表示するときに選択します。
視差シミュレーション	左右チャンネルの信号位相を変えることで、擬似的に立体感を確認します。 • **LR**：左チャンネルおよび右チャンネルの信号位相が同時に変化します。 • **レフト**：左チャンネル信号の位相が変化します。 • **ライト**：右チャンネル信号の位相が変化します。
ホロプターチェック	左右チャンネル信号の表示方法を変えることで、左右信号の識別を容易にします。 • **ノーマル**：映像信号を表示します。 • **ブラック**：黒信号を表示します。（映像信号は表示されません。） • **MONO**：映像信号を白黒信号としてグレー表示します。 • **レッド**：映像信号を赤信号として表示します。 • **ブルー**：映像信号を青信号として表示します。

サブメニュー	設定
左右反転	左右チャンネル信号 の表示方法（通常表示 / 水平反転表示）を選択します。 • **オフ**：反転機能を使用しません。 • **レフト**：左チャンネル信号を水平方向に反転します。 • **ライト**：右チャンネル信号を水平方向に反転します。
ペイロード ID	BKM-250TG の IN (INPUT)-1 端子および IN (INPUT)-2 端子から入力される信号について、ペイロード ID のチャンネルアサイン情報を表示します。表示情報を更新するときは、一度 3D 設定メニューを終了したのち、再度 3D 設定メニューを選択してください。 • **-**：ペイロード ID 信号が付加されていません。 • **x**：チャンネルアサイン情報が、Link-3 または Link-4 になっています。 • **レフト**：チャンネルアサイン情報が、Link-1 になっています。 • **ライト**：チャンネルアサイン情報が、Link-2 になっています。 ペイロード ID は、「3D 信号フォーマット」が「デュアル」のときのみ有効になります。

リモートメニュー

サブメニュー	設定
パラレルリモート	PARALLEL REMOTE 端子で機能を変更したいピンを選択します。 1 ～ 4、6 ～ 8 ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。 • - - -（「- - -」は機能の割付なし。） • コンポジット • Y/C • RGB • コンポーネント • DVI • HD15 • オプション A-1 • オプション A-2 • オプション B-1 • オプション B-2 • オーバースキャン • フルスクリーン • ノーマル • ネイティブ • 4：3 • 16：9 • タリー赤（LMD-2451TD） • タリー緑（LMD-2451TD） • 外部同期 • ブルーオンリー • MONO • H/V ディレイ • 16：9 マーカー • 15：9 マーカー • 14：9 マーカー • 13：9 マーカー • 1.85：1 マーカー • 2.35：1 マーカー • 1.85:1 & 4:3 マーカー • 4：3 マーカー • センターマーカー • セーフエリア 80% • セーフエリア 85% • セーフエリア 88% • セーフエリア 90% • セーフエリア 93% • マーカーマット ハーフ • マーカーマット ブラック • 2D/3D 選択 • チェッカーボード • L/R スイッチ • ホロプターチェック • 視差シミュレーション **ご注意** • パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。詳しくは 42 ページをご覧ください。 • アスペクトマーカー、センターマーカー、セーフエリアマーカーをコントロールするには、マーカー設定メニューの「マーカー表示」（32 ページ）を「オン」に設定してください。

サブメニュー	設定
シリアルリモート	使用するモードを選択します。 • **オフ**：シリアルリモートは機能しません。 • **RS-232C**：RS-232C のコマンドでモニターをコントロールします。 • **イーサーネット**：イーサーネットのコマンドでモニターをコントロールします。 • **BKM-15R**：BKM-15R の設定をします。
モニター	モニターの設定を行います。 **モニター ID**：モニターの ID を設定します。 **グループ ID**：モニターのグループ ID を設定します。 **IP アドレス**：IP アドレスを設定します。 **サブネットマスク**：サブネットマスクを設定します。 （255.255.255.000） **デフォルトゲートウェイ**：デフォルトゲートウェイを設定するかどうか（オン、オフ）を設定します。 **アドレス**：デフォルトゲートウェイを設定します。 **取消**：変更、確定された設定を変更前に戻します。 **確認**：変更、確定された設定を保存、反映します。
コントローラー	リモートコントローラーのアドレスを設定します。 **IP アドレス**：IP アドレスを設定します。 **サブネットマスク**：サブネットマスクを設定します。 （255.255.255.000） **デフォルトゲートウェイ**：デフォルトゲートウェイを設定するかどうか（オン、オフ）を設定します。 **アドレス**：デフォルトゲートウェイを設定します。 **取消**：変更、確定された設定を変更前に戻します。 **確認**：変更、確定された設定を保存、反映します。
コネクション	本体とコントローラーの接続を設定します。 **PEER TO PEER**：1 対 1 で接続します。 **LAN**：ネットワーク経由で接続します。

キーロックメニュー

各種設定項目の変更が効かないように、キーロックをかけることができます。
オフまたはオンを選択します。
「オン」に設定した場合、ほかのメニューの設定項目はすべて黒色表示となり、変更できなくなります。

故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- **画面が緑色や紫色になる** → RGBボタンまたはCOMPONENTボタンを押して、正しい入力を選んでください。
- **操作ボタンを押しても操作できない** → キーロックが働いています。キーロックメニューでキーロックの設定をオフに切り換えてください。
- **画面の上下に黒い帯が出る** → 信号のアスペクト比とパネルのアスペクト比が異なるときは、上下に黒い帯が出ますが、故障ではありません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付保証書の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

画像系 (LMD-4251TD)

LCDパネル　a-Si TFTアクティブマトリクス
有効画素率　99.99%
2D視野角（上/下/左/右、コントラスト>20 : 1）
89°/89°/89°/89°(typical)
3D視野角　「3D視野角（垂直）」（46ページ）参照
スキャン　ノーマル　0%
オーバースキャン　5%
有効表示画面（幅×高さ、対角）
930 × 523、1,067 mm
解像度　水平1,920ドット
垂直1,080ライン
アスペクト比　16 : 9

画像系 (LMD-2451TD)

LCDパネル　a-Si TFTアクティブマトリクス
有効画素率　99.99%
2D視野角（上/下/左/右、コントラスト>10 : 1）
89°/89°/89°/89°(typical)
3D視野角　「3D視野角（垂直）」（46ページ）参照
スキャン　ノーマル　0%
オーバースキャン　5%
有効表示画面（幅×高さ、対角）
518.4 × 324.0、613.2 mm
解像度　水平1,920ドット
垂直1,200ライン
アスペクト比　16 : 10

入出力系

入力

コンポジット入力（NTSC/PAL）
BNC型（1）
1 Vp-p ± 3 dB負同期
Y/C入力　4ピンミニDIN（1）
Y: 1 Vp-p ± 3 dB負同期
C: 0.286 Vp-p ± 3 dB（NTSCバースト信号レベル）
0.3 Vp-p ± 3 dB（PALバースト信号レベル）
RGB/コンポーネント入力
BNC型（3）
RGB入力：0.7 Vp-p ± 3 dB（Sync On Green 0.3 Vp-p負同期）
コンポーネント入力：0.7 Vp-p ± 3 dB（75%クロミナンス標準カラーバー信号）
音声入力端子　ピンジャック（2）
－5 dBu　47kΩ以上
外部同期入力端子
BNC型（1）
0.3～4.0 Vp-p正負両極性3値または負極性2値
HD15入力端子
D-sub 15ピン（1）
R/G/B：0.7 Vp-p、正極性
(Sync On Green 0.3 Vp-p負同期）
同期信号：TTLレベル、（極性自由、水平/垂直分離同期信号）
プラグアンドプレイ機能：DDC2B対応
DVI入力端子　DVI-D端子（1）
TMDSシングルリンク
リモート入力
パラレルリモート
モジュラーコネクター8ピン（1）
シリアルリモート
D-sub 9ピン（RS-232C）（1）
RJ-45モジュラーコネクター（ETHERNET）（1）
入力オプションスロット
2スロット
信号フォーマット
水平：15 kHz～45 kHz
垂直：48 Hz～60 Hz
DC IN端子　LMD-2451TD: DC 24 V
（出力インピーダンス0.05Ω以下）

出力

コンポジット出力端子
BNC型（1）
ループスルー、75Ω自動終端機能付き
Y/C出力端子　4ピンミニDIN（1）
ループスルー、75Ω自動終端機能付き
RGB/コンポーネント出力端子
BNC型（3）
ループスルー、75Ω自動終端機能付き
外部同期出力端子
BNC型（1）
ループスルー、75Ω自動終端機能付き
音声モニター出力端子
ピンジャック（2）
内蔵スピーカー出力
1.0 W + 1.0 Wステレオ出力

その他

電源 LMD-4251TD: AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz、2.7 A ～ 1.1 A
LMD-2451TD: AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz、1.5 A ～ 0.7 A
DC 24 V、5.7 A
消費電力 LMD-4251TD: 最大約 250 W (BKM-229X × 2 装着時)
LMD-2451TD: 最大約 130 W (BKM-229X × 2 装着時)
動作条件
温度 0 ℃～ 35 ℃
推奨使用温度 20 ℃～ 30 ℃
湿度 30% ～ 85% 以下（結露のないこと）
気圧 700 hPa ～ 1060 hPa
保存・輸送条件
温度 － 20 ℃～＋ 60 ℃
湿度 0% ～ 90%
気圧 700 hPa ～ 1060 hPa
付属品 AC 電源コード（1）
AC プラグホルダー（1）
3D メガネ（2）
L/R シート（1）
取扱説明書（1）
CD-ROM （1）
CD-ROM マニュアルの使いかた（1）
保証書（1）
別売アクセサリー
SDI 4:2:2 入力アダプター BKM-220D
HD/D1-SDI 入力アダプター BKM-243HS
NTSC/PAL 入力アダプター BKM-227W
アナログコンポーネント入力アダプター BKM-229X
HD/SD-SDI クローズドキャプションアダプター BKM-244CC
3G/HD/SD-SDI 入力アダプター BKM-250TG
（HD-SDI 信号の 3D 表示機能を使用する場合は、シリアル番号 7100001 以降の BKM-250TG をご使用ください。）
3D メガネ（メガネ型） BKM-30G
3D メガネ （クリップオン型） BKM-31G

3D メガネの仕様（付属品）
メガネ型
外形寸法（幅／高さ）：約 146 × 38 mm
質量：約 18 g
UV カット率：99% （280 nm ～ 380 nm）

本機は 「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

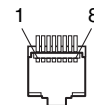
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ピン配列

PARALLEL REMOTE 端子

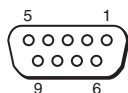
モジュラーコネクター
(8 ピン)

ピン番号	機能
1	入力信号コンポジットを指定
2	入力信号コンポーネントを指定
3	タリーランプ緑の ON/OFF
4	タリーランプ赤の ON/OFF
5	GND
6	外部同期の選択
7	オーバースキャンの選択
8	ノーマルスキャンの選択

機能割り付けは、リモートメニューで変更できます（38 ページ）。

リモートコントロールを使用するための配線

リモートコントロールで使用したい機能をアース（5 ピン）に接続します。

SERIAL REMOTE (RS-232C) 端子

D-sub 9 ピン、凹

ピン番号	機能
1	NC
2	RX
3	TX
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

対応信号フォーマット

本機は下記信号方式に対応しています。

システム	コンポジット、Y/C BKM-227W	RGB、コンポーネント BKM-229X	BKM-220D	BKM-243HS/244CC	BKM-250TG 2D	BKM-250TG 3D
575/50I(PAL)	○	○	○	○	○	–
480/60I (NTSC) *1	○	○	○	○	○	–
576/50P	–	○	–	–	–	–
480/60P	–	○	–	–	–	–
1080/24PsF *1	–	○ *2	–	○	○	○
1080/25PsF	–	○ *2	–	○	○	○
1080/24P *1	–	○ *2	–	○	○	○
1080/25P	–	○ *2	–	○	○	○
1080/30P *1	–	○ *2	–	○	○	○
1080/50I	–	○	–	○	○	○
1080/60I *1	–	○	–	○	○	○
720/50P	–	○ *2	–	○	○	○
720/60P *1	–	○	–	○	○	○
1080/50P	–	–	–	–	○	–
1080/60P	–	–	–	–	○	–

○：調整・設定できる信号
–：調整・設定できない信号
*1 フレームレート 1/1.001 にも対応します。
*2 コンポーネントのみ

HD15 入力対応信号

VESA DMT

解像度	ドットクロック [MHz]	fH [kHz]	fV [Hz]	同期極性		LMD-4251TD	LMD-2451TD
				水平	垂直		
640 × 480 60 Hz	25.175	31.469	59.940	負	負	○	○
800 × 600 56 Hz	36.000	35.156	56.250	正	正	○	○
800 × 600 60 Hz	40.000	37.879	60.317	正	正	○	○
800 × 600 72 Hz	50.000	48.077	72.188	正	正	○	○
800 × 600 75 Hz	49.500	46.875	75.000	正	正	○	○
800 × 600 85 Hz	56.250	53.674	85.061	正	正	○	○
1024 × 768 60 Hz	65.000	48.363	60.004	負	負	○	○
1024 × 768 70 Hz	75.000	56.476	70.069	負	負	○	○
1024 × 768 75 Hz	78.750	60.023	75.029	正	正	○	○
1024 × 768 85 Hz	94.500	68.677	84.997	正	正	○	○
1152 × 864 75 Hz	108.000	67.500	75.000	正	正	○	○
1280 × 960 60 Hz	108.000	60.000	60.000	正	正	○	○
1280 × 1024 60 Hz	108.000	63.981	60.020	正	正	○	○

VESA CVT

解像度	ドットクロック [MHz]	fH [kHz]	fV [Hz]	同期極性		LMD-4251TD	LMD-2451TD
				水平	垂直		
640 × 480 60 Hz	23.625	29.531	59.780	正	負	○	○
800 × 600 60 Hz	35.500	36.979	59.837	正	負	○	○
1024 × 768 60 Hz	56.000	47.297	59.870	正	負	○	○
1280 × 960 60 Hz	85.250	59.201	59.920	正	負	○	○
1600 × 1200 50 Hz	132.375	61.742	49.994	負	正	–	○
1600 × 1200 60 Hz	130.375	74.077	59.981	正	負	–	○
1360 × 768 50 Hz	69.500	39.489	49.922	負	正	○	○
1360 × 768 60 Hz	84.625	47.649	59.936	負	正	○	○
1360 × 768 60 Hz	72.000	47.368	59.960	正	負	○	○
1920 × 1080 50 Hz	141.375	55.572	49.975	負	正	○*	○
1920 × 1080 60 Hz	138.625	66.647	59.988	正	負	○*	○
1280 × 1024 60 Hz	91.000	63.194	59.957	正	負	○	○
1280 × 768 50 Hz	65.125	39.518	49.959	負	正	○	○
1280 × 768 60 Hz	80.125	47.693	59.992	負	正	○	○
1280 × 768 75 Hz	102.875	60.091	74.926	負	正	○	○
1280 × 768 60 Hz	68.250	47.396	59.995	正	負	○	○

* ダウンコンバート表示です。

その他

解像度	ドットクロック [MHz]	fH [kHz]	fV [Hz]	同期極性		LMD-4251TD	LMD-2451TD
				水平	垂直		
720 × 400 70 Hz	28.322	31.469	70.087	負	正	○	○
1280 × 800 60 Hz	68.900	48.935	59.969	負	負	○	○

○：対応
–：非対応

DVI 入力対応信号

DVI 入力信号範囲
　垂直周波数：50.0 Hz ～ 85.1 Hz
　水平周波数：31.5 kHz ～ 77.0 kHz
　ドットクロック：25.175 MHz ～ 148.500 MHz
　画サイズ、画位相：DE (Data Enable) 信号による自動判別

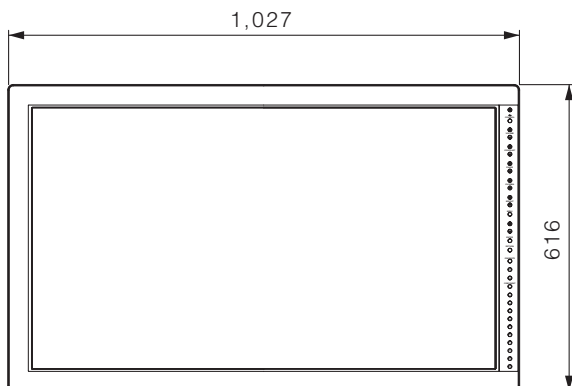
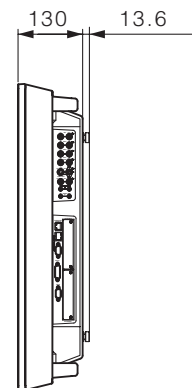
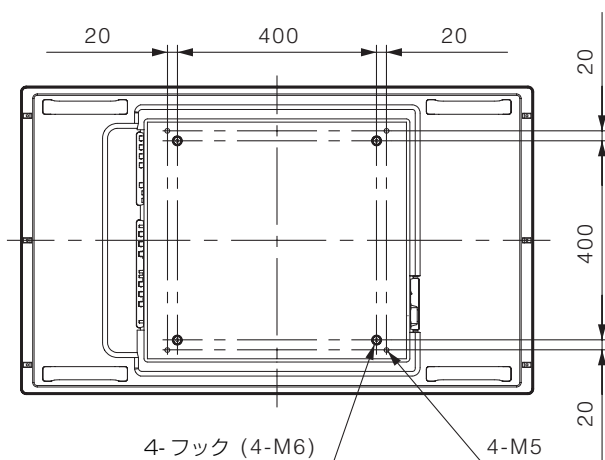
寸法図

LMD-4251TD

前面

後面

側面

130　13.6

単位：mm

質量

約 23.0 kg（入力アダプター未装着時）

約 23.5 kg（BKM-229X × 2 装着時）

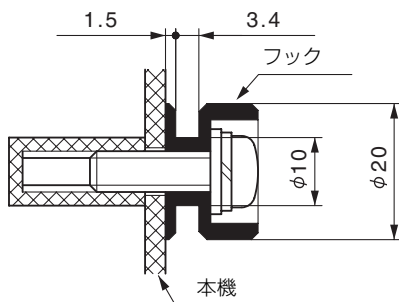
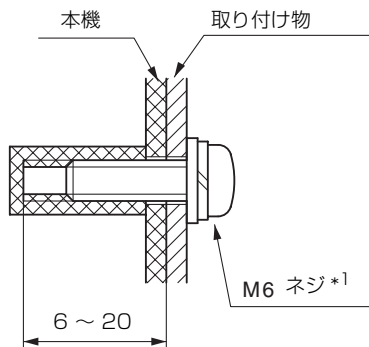
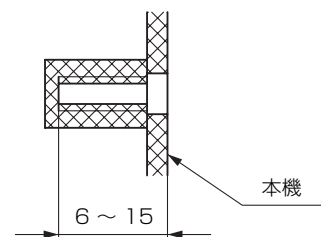
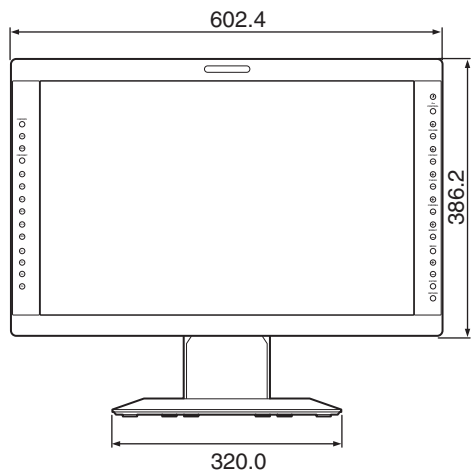
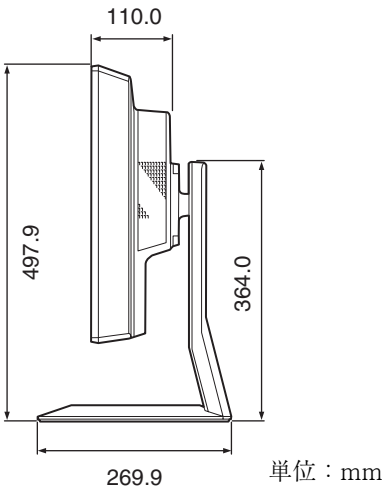
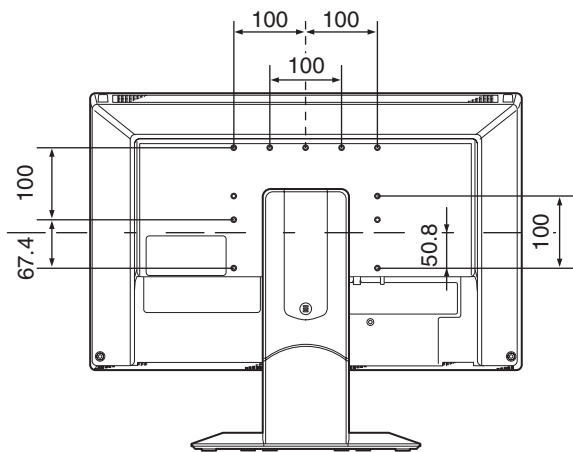
フック／ M6

M5

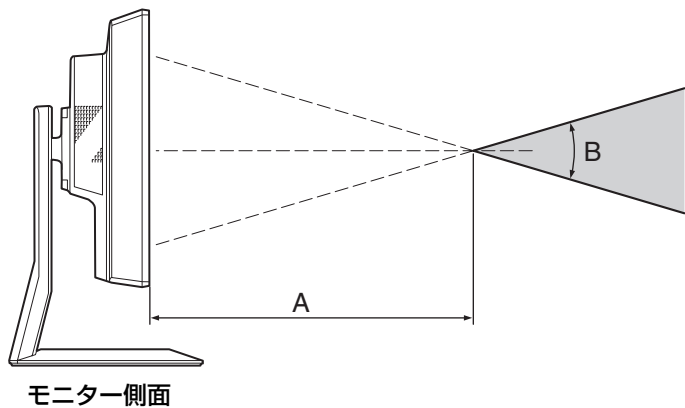
LMD-2451TD

前面

側面

単位：mm

後面

質量（モニタースタンド装着時）:
　約 11.0 kg（入力アダプター未装着時）
　約 11.5 kg（BKM-229X × 2 装着時）

3D 視野角（垂直）

モニター側面

3D 視野角（垂直）　　**クロストーク率 ≦ 7%**

	A (minimum)	B (typical)
LMD-4251TD	600 mm	40°
LMD-2451TD	300 mm	50°

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/